

昭和九年法律第二十九號中改正法律案特別委員會議事速記錄第一號

1112

昭和十六年十一月二十日(木曜日)午前
時六分開會 ○委員長(伯爵黒木三次君) デハ是ヨリ委員會ヲ閉會致シマス、坊城君ヨリ質疑ノ御通告ガアリマシタカラ、先づ坊城君ニ願ヒマス、坊城君

カドウカ、昨日農林大臣が乾麵飴、或ハ乾
麵ニ對シテノ戰時ノ爲ニ貯藏スルト云フ御
話ガアリマシタガ、私ノ特ニ御伺ヒ致シタ
所ハ、戰時食糧ニ對シテ其ノ貯藏ノ數量
或ハ貯藏ノ方法、分散的ニ貯藏シテ居ルト
カ、或ハ地下ヲ利用シテ居ルト云フ計畫ニ
付テ御話シ願ヒタイ、農林省ニ對シテヘ其ノ
五ツデゴザイマス、次ニ臺灣ノ方ニ伺ヒタ
イノデアリマスガ、臺灣ノ米穀以外ノ農產
物ト申シマスト、矢張リ内地デ申シテ居ル
物ト同ジ物デアルカドウカ、其ノ種類ヲ伺
ヒタイ、ソレカラ此ノ臺灣米穀移出管理特
別會計法ノ特例ニ關スル法律案ノ第三條ニ
「政府ハ當分ノ内千五百萬圓ヲ」トアリマスガ、
此ノ「當分ノ内」ト云フノハ何時迄ノ期間デア
ルカ、又何時迄ヲ豫想サレテ居ラレルカ、
ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第三
ニ獎勵金ヲオ出シニナル時ニ、臺灣總督府ノ
ノ特別會計カラ出シタ形ニシテ、實際ハ臺
灣米穀移出管理特別會計ヨリ臺灣總督府ノ
特別會計ニ繰入レルト云フコトニナッテ居
リマスガ、是ハ内地トチヨット違フノデアリ
マシテ、斯ウ云フ煩瑣ナコトラスルヨリモ、
單ニ臺灣總督府ノ特別會計カラ此ノ生產獎
勵金ヲオ出シニナッテモ宜クハナカッタデハ
ナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマ
ス、其ノ理由ヲ伺ヒタイト思ヒマス、其ノ
三點デゴザイマス

シマスト、結局——石米ガ取レタノデアリ
マスガ、其ノ中デ、農家ガ自分で食ベマス
米、自家用米ト謂ツテ居リマスガ、是ガ今迄
ノ經驗カラ見マスルト——石前後デアル
ノデアリマス、デ、今回一人當リノ規準ヲ
定メマシテ、各農家ノ數カラ割リ出シマシ
タ數ヲ政府デハ算出致シマシテ、サウシテ其
ノ以外ノ、農家ノ賣リマス販賣米、是ガ——
石程アルノデアリマス、之ヲ管理米ト致シ
マシテ政府ハ各府縣、町村ニ割當テタノ
デアリマス、其ノ結果——石ノ管理米ガ取
レルカドウカ、出ルカドウカト云フコトヲ
懸念致シタノデアリマス、只今申シマシタ
通り、農民ガ非常ナ努力ヲ致シマシテ、結
局——石ト云フ管理米ガ出來タノデアリマ
ス、其ノ中カラ政府ハ——石ヲ第一次トシ
テ買上ゲマス豫定ノ所、結局——石程ノ
買上米ガ出來マシタ、ソコデ政府米ガ非常
ニ補強サレマシタノト、外米ノ買付ニ付キ
マシテ、只今モ申シマシタヤウニ——石
ヲ……初メハ——石デハゴザイマセヌ——
石デゴザイマシタ——石ヲ「タイ」、佛印、
「ビルマ」カラ買フト云フ目標ノ下ニ色々工作
致シマシテ、大體見透シガ付キマシタノデ、
ソコデ今度ハ消費ノ規正ヲ致シタノデアリ
マス、是ハ本年ノ四月カラ先づ六大城市ニ
付キマシテ通帳制度ヲ布キマシテ、一人當
リノ消費量ヲ定メマシテ消費ノ規正ヲ實行
致シタノデアリマス、其ノ結果、消費ノ規正

行政費、施設フル、社會政策的ノ事業ノ爲ノ
ハアルト云フ見地カラ見マスト、特
別會計カラ出テモ宜カツタノデハナイカト
心フノデアリマス、其ノ點ハドウ云フ理由
依ッテ一般會計ニナサレタカ伺ヒタイ、ソ
レカラ戰時食糧ニ對スル對策ガ出來テ居ル

ナイカト云フヤウニ考ヘテレルノデアリマ
ス、其ノ理由ヲ伺ヒタイト思ヒマス、其ノ
三點デゴザイマス

○國務大臣(井野碩哉君) 只今坊城委員ノ
御質問ノ五點ニ付キマシテ、私カラ御答へ
申上ゲマスガ、第一點ノ、最近ノ米穀事情ニ

リマス、大體米穀ノ國家管理ノ實績ハ、當初農村ニ取リマシテハ非常ニ劃期的ナ政策ニアリマシタノデ、其ノ效果ニ付テ政府トシテハ憂慮致シタノデアリマスガ、農民ガ非當ニ此ノ時局ヲ能ク認識シテ吳レマシテ、當初政府カラ割當テマシタ――石ト云フ管理米、是ハ

ソコデ今度ハ消費ノ規正ヲ致シタノデアリマス、是ハ本年ノ四月カラ先づ六大城市ニ付キマシテ通帳制度ヲ布キマシテ、一人當リノ消費量ヲ定メマシテ消費ノ規正ヲ實行致シタノデアリマス、其ノ結果、消費ノ規正モ非常ニ能ク參リ、又政府米ノ補強モ出來、

外米モ——石ト豫想致シマシタノガ——石程手當ガ出來マシタノデ、此ノ端境期ニ至リマシテ相當ノ持越ガ出來ルヤウニシタノデアリマス、又其ノ——石ノ不足ヲ計算致シマス基礎ノ中ニ、外地米ノ移入卽チ朝鮮臺灣カラ入ツテ來マス米移入ヲ、初メハ——石ト豫想シタノデアリマス、ソレハ朝鮮カラ——石、臺灣カラ——石ト豫想致シタノデアリマスガ、實際ニ於キマシテハ臺灣朝鮮モ作ガ思ツタ程デナク、又消費モ増加致シテ居リマスノデ、兩方合セテ——石程ノ實際ノ移入デアリマシタ、デアリマスカラ、——石程ハ初メノ豫想トハ違ヒマシタガ、併シ外米ガ又——石ト考ヘテ居リマシタノガ——石モ入り、消費モ豫想ヨリハ規正ガ出來マシタノデ、結局此ノ十六米穀年度ト云フモノハ米ニ聊カノ不安モナク經過シ得タノデアリマス、ソコデ昭和十七米穀年度ハドウナルカト云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ昭和十七米穀年度ハ本年ノ十一月一日カラ來年ノ十月三十一日マデノ一年間デアリマスガ、此ノ需給關係ヲ考ヘテ見マスルト、今申上ゲマシタ通り本年ノ持越高ガ昨年ヨリハ餘程多イ、是ハマダ本當ノ數ガ判ツテ居リマセヌカラハッキリハ申上ゲマセヌガ、昨年ハ——石程ノ持越デアタノデアリマスガ、本年ハ餘程ソレヨリ多ク、或ハ——石、或ハ——石ト云フ位ハ持越ガ出来ルノデハナイカト思ツテ居リマス、ソレガ一つノ本年ノ供給ノ豫想ニナリマス、ソレカラ本年ノ作柄デアリマスガ……收穫デアリマスガ、是ガ第一回收穫豫想デハ——石ト云フ風ニナツテ居リマス、是ハ本年ハ——石程取リタイト思ヒマシテ、有ラユル努力ヲ拂ツタノデゴザイマスルガ、御承知ノ通リ七

月以來ノ天候ガ極ニ見ル不順デアリマシテ、昭和九年ノ天候ヨリモ寧ロ條件ガ色々惡イト云フ状態デアッタノデアリマス、昭和九年ト申シマスト、全體デ——石取レタ年デアリマス、其ノ年ヨリモ天候ガ非常ニ惡カッタノデアリマスルカラ、或ハ——石ヲ割ルト云フヤウナコトモアリハシナカト思ツテ非常ニ憂慮致シタノデアリマスガ、農民ガ時局ヲ能ク認識致シマシテ、極力病害虫ノ驅除ニ努力モ致シマスルシ、又品種等ノ選擇モ、能ク指導ニ基イテ治害ニ強イ品種ヲ植エテ吳レマシタシ、肥料ノヤリ方、其ノ他栽培ノ方法等ニ付キマシテモ、縣ノ指導員ト協力シテ、官民一致努力シテ吳レマシタ結果、兎モ角第一回ノ收穫豫想ハ——石ト云フ數字ヲ示シタノデアリマス、——石デアリマスレバ、私共モ大體今年ノ天候ニ對シテハ上々ノ作デアルト考ヘテ居リマシタガ、其ノ後秋ノ天氣モ餘リ思ハシクゴザイマセヌシ、又其ノ第一回收穫豫想後ニ九州中國ニ亘リマシテノ大暴風雨ガゴザイマシタノデ、其ノ爲ニ第二回收穫豫想ハ相當減收スルト考ヘテ居リマス、是ハ今集メテ居リマスルカラ、發表ハマダ致シテ居リマセヌガ、相當ニ減ル、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、相當ニ減リマシテモ、今申シマシタ通り今年ノ持越ガ昨年ヨリハ多イノデアリマスルカラ、先ヅ大體初メ考ヘマシタ時トトン／＼ニナルト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ外ニ朝鮮ガ本年ハ豐作デアリマシタ爲ニ、當初ノ豫想ハ——石程度デアリマシタガ、最近第ニ回豫想ハソレヨリハ相當ニ殖エテ居リマスガ、兎モ角豐作デアル、從チ朝鮮カラハ本年ハ相當ニ内地ニハ移入サシテ戴ケルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、是ハ折角今拓

務官局ト相談ヲ致シテ居リマス、マダ具體的ノ移入數字ハ決ツテ居リマセヌガ、——石前後ハ無論移入出來ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、臺灣ハ本年ハ平年作デアリマシテ、——石程度デハナイカト思ヒマスルガ、是モ一期作ト二期作ヲ通ジマシテ——石カラ——石位ハ或ハ移入ガ出來ルノデヤナカラウカト思ツテ居リマスノデ、外地米ト致シマシテハ——石乃至——石ハ内地ヘ持ツテ來ラレルノデハナイカト云フ風ニ見込ンデ居ルノデアリマス、サウ致シマスト、丁度昨年ノ米穀年度ヲ出發ノ時ト、今年ノ十七米穀年度ノ出發ノ時ト比較シテ見マスルト、寧ロ今年ノ方ガ昨年ヨリハ事情ハ好イト云フ状態デアル、併シ昨年ニ於キマシテモ——石ノ外米ヲ入レナケレバ米穀事情トモ——石前後ノ外米ハ入レナケレバナラスト、斯ウ云フ状態ニアルノデアリマス、本年モ勢ヒ昨年ト同ジ状態デアルトシマスレバ、——石前後ノ外米ハ入レナケレバナラストハ樂觀ヲ許サナカッタノデアリマスルガ、ソコデ只今御尋ノ、是ガ入ツテ來ナカッタラドウナルト云フコトガ、我々トシマシテモ、國際情勢ノ關係カラ見マシテモ、其ノ非常ノ事態モ考慮ニ入レテ食糧對策ヲ立テナケレバナリマセヌノデ、先般閣議ニ於キマシテ戰時緊急食糧對策ヲ樹立致シタノデアリマス、此ノ對策ニ依リマシテ、大體米ハ既ニ本年ハ作柄ガ決ツテ居リマスルカラ、麥ト甘藷、馬鈴薯ニ依ツテ、若シモ外米——石ガ入ツテ參リマセヌ時ニハ、是デ補フト云フ對策ヲ立テタノデアリマス、其ノ爲ニ從來ノ麥ノ増産計畫ノ外ニ、新タニ——石ノ麥ヲ取リマスル計畫ヲ立テタノデアリマス、ソレハ裏作ニ依リマシテ、——町歩ノ裏作ヲ致シ策ヲ立テタノデアリマス、其ノ爲ニ從來ノ麦シテ、又更ニ桑園デアリマストカ、果樹、

茶園、煙草ト云フモノヲ麥作ニ——町歩程
轉作致シマシテ、サウシテ——町歩ノ耕地
面積ヲ殖ヤシマシテ、麥ヲ——石取ルト云
フ對策ヲ立テタノデアリマス、麥ノ——石
ト申シマスト、米ニ致シマスト約——石ニ
相當致シマス、其ノ對策ヲ一面ニ立テマス
ト同時ニ、消費ノ規正ヲ強化致シマシテ、
酒米ノ如キハ昨年ヨリモ——石少ク致シテ、
米ヲソレダケ節約スル、併シ今日ノ情勢カ
ラ酒ヲ減ラスト云フコトモ如何カト存ジマ
シテ、米デ減リマシタ酒ハ、芋ニ依リマス
ル合成酒ニ依ツテ補フト云フ方針ヲ立テマ
シテ、兎モ角——石ノ米ヲ節約スル、麥モ
亦麵麩ニ甘諸澱粉ヲ一割乃至二割混ゼマシ
テ、サウシテ小麥粉ヲ節約致シ、又醤油モ
「アミノ」酸ニ依リマシテ小麥ヲ約——石ヘ節
約致スト云フヤウナ、色々ナ節約方針ヲ立
テ、又更ニ一般ノ消費規正ヲ強化致シマシ
テ、假ニ外米ガ入りテ參リマセヌデモ、明年度
ノ端境期ニ於キマシテ、持越高ラ多少窮
屈ニ致シマスレバトン——ニ行ク計算ヲ目
下立テ居ルノデアリマス、デアリマスル
カラ、此ノ狀態デ參リマシテ外米ガ入りマ
セヌデモ、國民ガ麦ナリ芋ヲ米ニ混ゼテ食
ベテ吳レサヘシマスレバ、主要食糧ノ上ニ
於テハ不安ガナイ、斯ウ云フ狀態ニ今日デ
ハ立至ツテ居ルノデアリマス、併シ外米輸
入ニ付キマシテハ、佛印モ「タイ」モ我國ト
ハ特殊ノ關係ニ立チ得タノデアリマスカラ、
是ハ極力取ル、若シモ——石ノ外米ガ今ノ
對策ノ外ニ入ツテ參リマスレバ、明年度ノ
端境期ニ於テハ相當ノ政府ノ手持米が出

來得ル計算ニナツテ居リマス、政府トシテ
ハ斯ウ云ッタヤウナ毎年ノ需給關係ヲ、
唯辻棲ヲ合セテ行クト云フダケデハ非常ニ
心細イノデアリマスカラ、如何ナル凶作ガ
來マシテモ大丈夫ダト云フ態勢ヲ整ヘル必
要ガアリマスノデ、今申上ガマシタヤウニ、
外米輸入ヲ極力圖リマシテ、サウシテ米穀
ノ貯藏ヲ相當數量スルト云フヤウニ努力ス
ルト云フ方針、即チ二本建ノ方針ヲ先般ノ
閣議デ決定致シタノデアリマス、此ノ外ニ
食糧政策トシマシテハ、主要食糧ノ需給關係ヲ
改善スルノミナラズ、蛋白質給源及び
脂肪給源ノ確保モ圖リマセスト、國民榮養
上偏食ニナル嫌ヒガゴザイマスノデ、其ノ
方面ノ對策モ戰時緊急食糧對策ニハ併セテ
決定致シマシテ、水產物或ハ大豆等ノ蛋白
給源、鷄卵其ノ他ノモノ、又脂肪ニ付キマ
シテハ植物油、動物油ノ確保ト云フヤウナ
モノニ付キマシテ、色々ノ對策ヲ講ジタ譯
デアリマス、大體第一ノ御尋ハ一應其ノ程
度ニ申上ガマシテ、尙御質疑ガアリマシタ
ラ更ニ申上ゲタイト存ジマス、第二ノ滿洲雜
穀ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ今日滿洲
カラ一番多ク取シテ居リマスマノハ大豆デ
アリマス、大豆ハ滿洲トシマシテハ本年四
百萬「トン」前後…三百九十萬「トン」カト
思ヒマスガ…位ノ收穫ハアルヤウデアリ
マス、併シ收買ノ關係、色々ノ關係デ内地
ヘ、期待致シマス數量ガ其ノ中デドレダ
ケ來ルカ、今折角折衝致シテ居リマス、九
十萬「トン」程來レバ無論内地ノ有ラユル
醤油、味噌、豆腐、其ノ他ノモノニ十分ニ廻
セルノデアリマスガ、逆モ九十萬「トン」ノ
輸入ハ困難ト思ヒマス、又大豆粕モ相當ニ
入レナケレバナラヌノデアリマスガ、ソレ

等ヲ併セマシテ昨年ヨリハ少シハ良ク來ル
外滿洲カラハ包米 玉蜀黍デアリマスガ、
玉蜀黍ノ輸入ヲ致シテ居リマス、是ハ主ト
シテ鶏ノ飼料デアリマス、之ヲ二十萬「ト
ン」乃至三十萬「トン」年々入レテ居ルノデ
アリマスガ、本年其ノ包米ハ相當ニ出來テ
居リマスカラ、矢張リ其ノ程度ハ入レタイ
ト思ツテ折角努力致シテ居リマス、粟高粱
等ニ付キマシテハ、是ハ寧ロ内地へ入レル
ト申シマスヨリハ、朝鮮へ相當數量入レマ
シテ、サウシテ朝鮮米ヲ其ノ代換的關係ニ
於テ内地へ入レルト云フコトニ政府トシテ
ハ努力致シテ居リマス、是モ今回ノ特別會
計デ日本ノ政府ガ直接滿洲ノ高粱、粟ヲ買
ヒマシテ、サウシテ朝鮮ノ商人ニソレヲ賣
ドレダケト云フコトハマダ申上ゲル迄ニナッ
テ居ラナイノデアリマス、併シ結局昨年位
ル、斯ウ云フ建方ヲ致シテ居リマス、其ノ
數量モ今折角相談申デゴザイマスルカラ、
ノモノハ朝鮮へ入レテ、サウシテ是非朝鮮
カラ先程申上ゲマシタヤウチ朝鮮米ノ移入
ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第アリマス、
第三ノ現在迄ノ特別會計ノ損失デゴザイマ
スガ、是ハ只今御話ノ通り三億四千萬圓程
ニナッテ居リマス、其ノ種類ニ付キマシテハ
後程食糧局長官カラ御説明申上ガルコトニ
致シマス、第四ノ米穀獎勵金ヲ何故一般會
計カラ出シタカ、特別會計カラモ出セルデ
此ノ米穀靈給特別會計ニナッテ居リマス、
從ツテ獎勵金的ナ性質ノモノハ法律上ノ解釋
カラ申シマシテモ、少シク出スコトガ困難

ナヤウニナツテ居リマス、併シ法律ヲ改正シテ出セバ宜イヂヤナイカト云フ御議論モニ論立チ得ルト思フノデアリマスケレドモ、特別會計ハ大體收支ノ「バランス」ヲ合ハシルト云フコトハ特別會計ノ性質上避ケナケレバナラヌモノデゴザイマスガ、一方獎勵金ノ方ハ收入ハチツトモゴザイマセスカラ、若シモ特別會計デ獎勵金ヲ出スト致シマスレバ一般會計カラ補給シナケレバナラヌト云フコトニナル、一般會計カラ補給スル位ナラ初メカラ一般會計デ出ス方ガ筋が適當デ宜イデハナイカト考ヘマシテ、今回ノ獎勵金ハ一般會計デ負擔スルコトニ致シタノデアリマス、第五ノ戰時食糧ニ對シマスル對策デゴザイマスガ、是ハ需給關係ヲ基礎トシマスル食糧對策ハ只今申上ガタ通りデアリマスガ、空爆下ヲ豫想致シマシテノ食糧分散ト云フ對策デゴザイマスガ、是ハ大體三ツノ點カラ考慮シナケレバナラヌノデアリマス、第一ニ數量的ニ如何ニ確保スルカト云フ問題ト、其ノ時期ニ於キマシテ之ヲ如何ニ公平ニ國民ニ分配スルカト云フ問題ト、ソレカラ其ノ輸送機關其ノ他ノ機關ヲ如何ニ配置スルカト云フ三ツノ問題ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、數量的ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ實ハ機密ニナツテ居リマスノデハッキリ申上ゲマセヌガ、大體米ト乾麵麪、罐詰乾麵、サウニ云ツタヤウナモノヲ大體用意致シテ居リマシテ、六大城市其ノ他主要都市ニ分散致シテ居ルノデアリマスガ、現在其ノ分散ヲ完了致シテ居リマス、罐詰ノ如キ毛都市ニ配分致シマシテ、イザト云フ時ニ直ダ家庭ニソレガ配給出來ルヤウニ準備致シ

テアリマス、ソレカラソレヲ配給シマス機
關ト致シマシテ、主トシテ米麥デアリマス
ガ、ソレハ先般食糧國防團ト云フモノヲ全
國的ニ組織致シマシテ、是ハ主トシテ今迄
ノ米屋ノ連中ガニ當ルノデアリマスガ、
イザト云フ時ニハ其ノ連中ガ中央ノ指令ノ
下ニ各都市ニ於キマシテ一齊ニ動キ得る軍
隊的組織ヲ作リマシテ、サウシテ何時デモ
本部ノ命令一下其ノ配置ニ就キ得ルヤウニ
致シマシタ、先般モ防空演習ノ時其ノ訓練
ヲ致シマシタガ非常ニ成績ガ宜シウゴザイ
マシテ、大阪ノ如キハ陸軍省カラ非常ナ御
褒メノ言葉ニ與カツタ位ウマク行ッテ居リマ
ス、是ハ全國的ニ更ニ訓練ヲ重ネマシテ、
サウシテ配給ニ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘ
テ居リマス、又輸送機關等ノ關係ニ於キマ
シテモ、鐵道省、遞信省、又小運送等ニ付
キマシテハ鐵道省、色々各方面ト連絡ヲ取
リマシテ、非常時ニ於キマシテ萬遺憾ナ
キヲ期スル態勢ヲ整ヘテ居ルノデアリマス
ガ、更ニ政府トシマシテハ此ノ食糧分散貯
藏ノ爲ニ倉庫ガ不足デアリマスノデ、此ノ
非常用ノ食糧貯藏ノ爲今日主要都市ニ於キ
マシテハ倉庫ノ増設ヲ今急イデ居リマス、
是等ガ出來上リマスト、大體空爆下ニ於キ
マスル所ノ戰時食糧對策ガ確立スルト云フ
風ニ考ヘテ居ル次第アリマス、大體以上
御答フ申上ゲル次第アリマス

イマシタ特別會計ノ損失ノ問題デゴザイマスガ、昭和十六年ノ三月末ノ狀況ヲ申上げマスト、特別會計ノ損失ノ總額ハ三億一千七百三十萬圓ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ其ノ内譯ヲ御説明致シマスルト、事務費、事業費、營繕費、借入金利子、ソレカラ米穀證券割引料等ノ經費デゴザイマスガ、此ノ總額ガ一億六千六百七十二萬圓トナツテ居リマス、ソレカラ災害損害金、是ガ一千二百十七萬圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレカラ尙米ノ買入、賣渡ヲシテ居リマス事業ニ伴ヒマシテ、累年ノ賣却及評價損其ノ他デ一千六百六十七萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、モウ一つ項目ガゴザイマシテ、昭和九年法律第五十二號ノ凶作ニ對シマスル政府所有米ノ臨時交付デアリマスガ、之ノ法律ニ依リマスル交付金ガ一千百七十二萬圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレ先程御話ノ中ニゴザイマシタ倉庫ノ建設ト云フコトハ、是ハ別ニ損失ニハナツテ居リマセヌデゴザイマスガ、倉庫ノ營繕費等ハ、是ハ損失トシテ計上致シテ居リマス、ソレカラ災害損失金デアリマスガ、是ハ關東大震災、北陸水害、關西風水害等ノ損失ヲ計上致シテゴザイマス

○政府委員(北島謙次郎君) 臺灣關係ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、第一ハ米穀以外ノ農產物ニ付キマシテノ豫定デアリマスガ、差當リ小麥粉、甘諸、又「タピオカ」、澱粉及切干芋ト云フモノヲ豫定致シテ居リマス、併シ必要ニ依リマシテハ、今斯ウ云フ加工品以外ノ生ノ薩摩芋ヲヤルコトモアルカモ知レマセヌガ、只今ノ所デハサウ云フモノハ一應除外致シマシテ、今申上ガタ位ノモニ付キマシテ臺灣ト致シマシテハ豫定致

シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ法律ノ趣旨カト云フ御尋ネデゴザイマスガ、實ハ第三條ニ、當分ノ内ト書イタノハドウ云フ、ラ採ツテ居リマシテ、臺灣米穀移出管理法自外ノ、米穀以外ノ食糧ニ付キマシテモ、臺灣島内ノ配給上必要アル場合ニ於テハ賣買シ得ルヤウナ途ヲ開キタイ、之ニ依ツテ臺灣島内ニ於ケル米穀ノ或ハ食糧ノ需給ヲ調節致シマシテ、場合ニ依ツテハ内地移出ニ振向ケ得ル米穀ヲ出來ルダケ之ニ依ツテ増加スルト云フヤウナ操作モ出來得ルカト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ根本ノ米穀移出ト云フ從來ノ立法其ノモノハ矢張リ存續シテ置イテ、今回ノ立法ハ、斯ウ云フ特殊ノ事態ニ對應スル爲ニ今回ノ法律改正ヲ必要トスルト云フ建前ヲ採リマシタ關係上、矢張リ第三條ノ借入金ニ付キマシテモ、其ノ趣旨ヲコハ明確ニシタ譯デゴザイマス、ソレカラ第三ノ御尋ノ獎勵金ノ支出ニ關シテ、即チ此ノ第二條制定ノ理由デゴザイマスガ、是ハ臺灣ニ於キマスル米穀對策トシテ、來ノ建前カラ申シマスルト云フト、一應管理特別會計ト致シマシテハ、決算上ノ剩餘金トシテ積立金ニ繰入レラレテ、二箇年後ニ是ガ初メテ臺灣總督府ノ一般會計ニ計上シ得ルト云フヤウナコトニ相成ルノデアリマス、ソレデ二箇年間、結局米穀管理特別會計ノ方ガ利益ヲスル、現行ノ儘デ拋ツテ置キマスレバサウ云フヤウナ結果ニナルノデアリマス、從ヒマシテサウ云フ不便ヲ除キマス爲ニ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ直グ其ノ年ニ管理特別會計カラ一般ノ會計ノ方ニ繰入レルヤウニシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致シタイト云フノガ此ノ第二條ノ趣旨デゴザイマス

○男爵坊城俊賢君 分リマシタ
○子爵土岐章君 私ハ只今ノ問題ニ付テ關聯シテ伺ヒタインデスガ、政府ハ米穀以外ノ他ノ雜穀、其ノ他甘蔗等ノ生産物ヲ以テ米不足ヲ補フ、米穀ノ不足ヲ補フト云フコトニ付キマシテノ處置ニ付テモ十分了承致シマシタガ、之ニ付キマシテ先程ノ御説明ノ中ニ麵麪ト云フモノニ付テ御説明ガナカツタノデアリマスガ、之ニ對シテハ政府トシテハドウ云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、或ハ全然小麥ト云フモノニ對シテハ、米ノ不足ノ場合ニ小麥ヲ丸ノ儘米ニ混ゼテ食べサセルト云フヤウナコトハ、大分各方面デ胃腸ヲ害スルト云フヤウナコトガアツテ、不平ガアツタヤウデアリマスガ、之ニ對シテ何等カノ御計畫ガアルカドウカ、其ノ點ヲ一ツ食糧局長官カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマニナル所ノ生産獎勵金ト云フモノハ、是ヘ内地ノ場合ト違フノデアリマセウカ、例ヘバガ、尙後程會議以外デ伺ヒタイト思ヒマガ、ソレカラ尙臺灣ノ特別會計カラオ出シニナル所ノ生産獎勵金ト云フモノハ、是ヘ内地ノ場合ト違フノデアリマセウカ、例ヘバガ、尙後程會議以外デ伺ヒタイト思ヒマガ、ソレカラ尙臺灣ノ特別會計カラオ出シニナル所ノ生産獎勵金ト云フモノハ、是ヘ内地ノ場合ト違フノデアリマセウカ、例ヘバ

ノニ對シテ二圓ヲ獎勵金トシテオ出シニナルノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマスレバ、所謂特別會計カラ支出致ス譯デゴザイマス、所ガ米ヲ買ツタリ賣渡シタリスルノハ所謂米穀移出管理特別會計デアリマシテ、此ノ獎勵金ノ二圓ニ相當スル金額ハ、自分ノ方デハ一文モ支出シナイデ賣却代價ノ二圓ノ分ダケハ利得ヲスル、一般會計ノ方ハ損ヲスルト云フ建前ニナリマスルカラ、其ノ不合理ヲ避ケ、且此ノ規定ヲ設ケマセナカツタ場合ニ於キマシテハ二箇年後ニ、從來ノ建前カラ申シマスルト云フト、一應管理特別會計ト致シマシテハ、決算上ノ剩餘金トシテ積立金ニ繰入レラレテ、二箇年後ニ是ガ初メテ臺灣總督府ノ一般會計ニ計上シ得ルト云フヤウナコトニ相成ルノデアリマス、ソレデ二箇年間、結局米穀管理特別會計ノ方ガ利益ヲスル、現行ノ儘デ拋ツテ置キマスレバサウ云フヤウナ結果ニナルノデアリマス、從ヒマシテサウ云フ不便ヲ除キマス爲ニ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ直グ其ノ年ニ管理特別會計カラ一般ノ會計ノ方ニ繰入レルヤウニシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致シタイト云フノガ此ノ第二條ノ趣旨デゴザイマス

○男爵坊城俊賢君 今ノデ大體分リマシタガ、尙後程會議以外デ伺ヒタイト思ヒマガ、ソレカラ尙臺灣ノ特別會計カラオ出シニナル所ノ生産獎勵金ト云フモノハ、是ヘ内地ノ場合ト違フノデアリマセウカ、例ヘバガ、尙後程會議以外デ伺ヒタイト思ヒマガ、ソレカラ尙臺灣ノ特別會計カラオ出シニナル所ノ生産獎勵金ト云フモノハ、是ヘ内地ノ場合ト違フノデアリマセウカ、例ヘバ

○政府委員(湯淺元威君) 麵麪ノ問題ニ付キマシテハ先程大臣ヨリ乾麵麪ノコトヲ御話ニナリマシタノデアリマスガ、アレハ戰セウカ、ソレトモ政府ガ買上グルダケノモニ付キマシテ臺灣ト致シマシテハ豫定致

準備ト致シマシテ備ヘテ置カウト云フ積リ
デアリマス、只今土岐委員ノ御指摘ニナリ
マシタ一般ノ食糧トシテ、小麥ヲ粒ノ儘食
ベサセルヤウナコトヲヤッテ宜イモノカ、將
來ノ麵麩ニ付テノ考ヘドウカト云フコトデゴ
ザイマスガ、私達ト致シマシテモ大體小麥
ト云フモノハ之ヲ粉ニシテ、或ハ餛飩粉ト
カ或ハ麵麩ドカラ云フヤウナ形ニ於テ之ヲ消
費スルノガ適當カト信ジテ居リマス、唯非
常ニ食糧事情ガ窮迫シテ居リマシタ昨年ノ
丁度只今頃ニ於キマシテハ、措置ガ付キマシテ
ヌデ粒ノ儘デ小麥ヲ配給シタコトガゴザイ
マス、是ハ自然ノ状態ニ於キマシテハ、要
スルニ麵麩ノ利用ト云フコトニ付キマシテ
モ、之ヲ豊富ニ致スノガ適當カト思ヒマス、
サウ云フ方向ニ參リタイト思ツテ居リマス、
唯一兩年ノ事情ヲ見マスルト、麵麩ニ對シ
テ十分ナル原料配給ト云フコトノ小麥ノ手
當が出來テ居リマセヌ、將來完全ニ迄行キ
マスニハ、マダ少し時間ガ掛ルト云フヤウ
ニ考ヘテ居リマス

ニ付テノ分布状況ト云フコトニ付テ材料ヲ御願ヒシテ置イタノデアリマスガ、全國ニ對シテノ麵麪ノ計畫ニ對スル工場ノ分布其ノ他ニ對シテ、政府トシテモ御計畫ガアルカナイカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス○政府委員(湯河元威君) 麵麪ノコトニ付キマシテハ食品局長カラ詳シク御答ヘシテ貴ヒタイト云フ風ニ思ッテ居リマス、只今ノ所大體此ノ麵麪ノ粉ニ適當ト致シテ居リマス、強力小麦粉、之ノ配給等ハ大體從來ノ需要ノ實績等ヲ案ジマシテ、斯ウ云フ風ナ割合ヲ決メマシテ生産ヲ致サセテ居ルノデアリマス、是デ以チマシテ大體各地方ノ足ラズ米ノ需要ヲ充タシテ行クト云フ計畫ニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソレデ麵麪ノ工場等ノ全國的ニ眺メマシタ施設ニ付キマシテハ、實ハ私モ能ク存ジテ居リマセヌノデアリマスガ、只今迄色々麵麪ノ製造ニ付キマシテ關係者ニハ非常ニ熱心ナ色々ノ御計畫モアツタヤウデアリマス、政府ノ方ニ於キマシテモ色々其ノ實情ヲ能ク調査致シマシテ、ソレニ適合スル措置ハ是非採ツテ行カナケレバナラナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ、此ノ春頃迄ハ食糧管理局ニ於キマシテ御關係致シテ居リマシタガ、最近ハ食品局ノ主管ニナツテ居リマスノデ、食品局長ヨリ一ツ御答辯申上ゲタイ、斯ウ思ツテ居リマス○子爵土岐章君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ何レ食品局長カラ御答辯ガアルト思ヒマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ政府ニ於テ食糧不足ノ場合ニ十分ニ此ノ缺乏ヲ補ハレ

ルヤウニ、萬全ノ策ヲ御採リニナルコトヲ
希望シテ置キマス

○男爵中川良長君 本委員會ニ二案付託サ
レテ居リマスガ、之ヲ同時ニ論議スルヤウ
ニ議題トサレマスカ、或ハ一方ノ方ヲ先ヅ
議題ニ供サレテ、ソレノ質問ヲ終ツタ後ニ他
ノ方ヲ質問スルト云フヤウナ御措置ヲ御採
リニナリマスカ、委員長ノ御考ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○委員長(伯爵栗木三次君) 中川君ニ御答
ヘ致シマス、此ノ點ニ付キマシテ當初私ガ
御諮リ致スベキ害アリマシタ、處ガ御質
問者ノ關係カラドウモサウ云フ風ニ參ラナ
クナリマシタノデ、此處デ今幸ヒ中川男爵
カラサウ云フ御提議ガアリマシタカラ、皆
様ニ御諮リ致シタイト存ジマス、委員長ト致
シマシテハ兩者共左様ニ非常ナ性質ガ離レ
タモノデナイト存ジマスルノデ、且今迄ノ
委員會ノ經過其ノ他ニ依リマシテモ、案ヲ二
ツ別々ニ論議致シマスヨリモ、併セテヤンタ
方ガ事實早ク行キハシナイカ、斯様ニ自分ハ
思フノデゴザイマスガ、是ハマア皆様ガドウ
御思ヒニナルカ存ジマセヌガ、皆様ニ御諮
リ致シタイト存ジマス、今中川君カラ御提
案ガゴザイマシタガ、如何取計ヒマセウカ
○宮田光雄君 農林大臣ハドウスルノデス
カ

○委員長(伯爵栗木三次君) 農林大臣ハ今
豫算總會ノ方ヲ已ムナク呼バレテ參リマシ
タノデ、直キ参リマス

○富田光雄君 大臣ニ對シテ質問シタイ人
ガアルノヂヤナイカト思フノデス、私ハ今考
ヘテ居ナイノデスガ、大臣ガ居ナイノナラ
此ノ臺灣ノ方ヲ先ニ片付ケテ、アト大臣ノ
來ル迄外ノ質問デモヤルトカ、便宜ナ方法

ニシテ、何モドツチヲ先トカ後トカ云フコトヲヤカマシク言フ必要モナイト存ジマスノデ、サウ云フコトハ便宜ニヤッテ戴キタオト思ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 承知致シマシタ、サウ云フ風ナコトハ便宜ニ致シタイト思ヒマス

○赤池灑君 農林大臣ノ御話ヲ伺ヒマシテ、少シ疑問ガ起リマシタカラ、農林大臣ニ少シ質問ヲ致シタイト存ジマス

○委員長(伯爵黒木三次君) モウ直キデゴザイマス

○赤池灑君 今宮田君カラ幸ヒ質問ガゴザイマシタカラシテ、私ハ後ニ農林大臣ニ質問ヲサシテ戴キタイト思ヒマス

○内田重成君 私ハ臺灣ノ當局ニ只今議題トナツテ居リマス、移出管理特別會計法ノ特例ニ關スル法律案ノ第二條ニ關聯シテ伺ヒタイト思ヒマス、先程御説明ニナリマシタ供出来ニ對スル獎勵金二圓ノ問題デゴザイマスルガ、其ノ御趣旨ハ誠ニ結構デ、今日ノ時代ニ極メテ適切ナル方策ニアルノデアリマスルガ、是ハ内地モ矢張リ同様デアリマスルガ、供出来ニ限テ獎勵金ヲ出スト云フコトニ付テ疑ヲ有スルノデアリマス、生產獎勵デアリマスルカラ、農民ガ生産スルモノ全部ニ對シテ獎勵金ヲ與フベキデアツテ、農民ト雖モ食料ナシニハ生活ハ出來ナイ、其ノ農民ノ食料トスルモノヲ自分ガ生産セナケレバ、他カラ其ノ供給ヲ受ケナケレバナラヌモノデアルノデ、農民ガ生産シタモノ全部ニ對シテ獎勵金ヲ與フベキタリデハナイコトニ御決定ニナリマスルニ付テハ、其處カト平常カラ私ハ疑ツテ居ルノデアリマス之ヲ供出来ニ限テ獎勵金ヲ與フルト云フ

ニ自分で食ッテシマフモノハヤラナイト云
フノデハ、生産獎勵ト云フ趣旨ノ全體ヲ説
明スル譯ニハ參ラヌノデハナイカト云フコ
トヲ平常カラ私疑ツテ居ルノデアリマス、是
ハ何レ内地ノ例ニ倣ツタト云フコトデアル
カモ知レマセスガ、一應此ノ法案ニ直接出
マシタモノデアリマスカラ、之ヲ臺灣デモ
矢張リ供出来ニ限ラレタ理由ニ付キマシテ
伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(北島謙次郎君) 全ク御察シノ
通りニ、マア内地ノ例ニ倣ツタ譯デゴザイマ
スルガ、内地ノ方デ斯ウサレタ理由ハ私ハ
能ク事情ハ承知致シマセスガ、御話ノ通り
全ク御尤ノ點モゴザイマスガ、マア一方財
政的ノ關係モ餘程關係シテ居ルノデナイカ
ト思ヒマス、自家用消費米迄獎勵金ヲヤル
トナルト財政的ノ負擔ハ非常ニ多クナルノ
デアリマスルシ、サウシテマア自分で作ッテ
自分デ食ベルモノハ、是ハマアサウヤッタ方
ガ御話ノヤウニ宜イトハ思ヒマスケレドモ、
ヤラナクテモマア濟ムノデヤナイカ、旁々財
政的ノ關係モアルカラト云フヤウナ事情デ
ナイカト思ヒマスガ、或ハ農林省ノ方カラ
御答辯願ツタ方ガ宜イカト思ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 内田君ガ御質
問中デスカラ、内田君ニ御了解ヲ願ヒマセ
ストチヨット困ルノデスガ……、内田君、如
何デセウカ

○内田重成君 宜シウゴザイマス

○子爵植村家治君 此ノ昭和九年法律第二
十九號ノ方ノ、此ノ資金ノ増額ハ分ッテ居リ
マスルガ、其ノ臺灣ノ方ノ米穀移出管理ノ
特別會計法ガ初メテ出夕時ハ、矢張リ不自
然ナ米價ヲ更正シテ、サウシテ其ノ米作ノ
偏重、又ハ米作ニ單一化スルト謂フヤウ
ニ獎勵金ヲ出ス、斯ウ云フ御趣旨デアッタノ
ト思ヒマス、今度應急特殊ノ事態ニ處シテ米作モ獎
勵シ、増產モ圖リ、又他ノ有用食物モ此處
ニアリマス米作以外ノ食糧農產物並ニ其ノ
加工品ニ對シテ是ダケノ増額ヲスルト云フ
コトニ變ツテ來タノデスカ、ソレヲ承リタイ
ト思ヒマス

○政府委員(北島謙次郎君) 現在ノ臺灣米
穀移出管理ヲ始ヌマスル際ニ、當貴族院ニ
於キマシテモ、今回ノ制度ノ趣旨ハ寧ロ米
作ヲ抑ヘテ、米作以外ノ、例ヘバ砂糖ダト
カ、甘蔗ダトカ、サウ云フモノノ栽培ヲヤ
ラセムガ爲ニ斯ウ云フ立法ヲスルノデハナ
スガ、此ノ二ツノ、一トノ法案ニ付テノ
法律ノ提案ノ理由ニチヨット疑問ガ出來タノ
デスガ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○子爵植村家治君 チヨット疑問ガアルノデ
スガ、此ノ二ツノ、一トノ法案ニ付テノ
法律ノ提案ノ理由ニチヨット疑問ガ出來タノ
デスガ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス
○委員長(伯爵黒木三次君) 農林大臣ガ居
豫算委員室迄呼ビニマシタカラ……

○子爵植村家治君 臺灣ノ方ニ主ニ……
○委員長(伯爵黒木三次君) 農林大臣ガ不
在デ宜ケレバ……

○子爵植村家治君 居ラレナクテ宜イノデ
スガ……

○政府委員(北島謙次郎君) 現在ノ臺灣米
穀移出管理ヲ始ヌマスル際ニ、當貴族院ニ
於キマシテモ、今回ノ制度ノ趣旨ハ寧ロ米
作ニ付テ居リマスガ、其ノ翌年ノ昭和十五米穀
年度ニ於キマシテハ六十五萬六千甲歩、ソ
レカラ昭和十六米穀年度ニ於キマシテハ六
十七萬三千甲歩ト云フ風ニ耕作ノ反別モ事
實植エテ居リマス、決シテ抑壓スルト云フ
ヤウナ目的モ元々持ツテ居リマセヌノデス
ガ、事實ニ於キマシテモ斯様ニ毎年殖エテ
居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマシテ、今
回ノ法律モ特ニ、然ラバ米作ノ方ニウント
重點ヲ置イテ、米作以外ノ、例ヘバ甘蔗ノ
ヤウナモノヲ極力減ラスカト云フ考ハマダ
持ツテ居リマセス、昭和十七米穀年度、即チ
今年ノ二期作及來年ノ第一期作、昭和十七
米穀年度ノ米作ノ作付面積ニ付キマシテ
モ、昨年ヨリハ多少殖ヤス積リデハゴザイ
マスガ、大體六十九萬六千甲歩ト云フ豫定
デゴザイマス、勿論或程度ハ殖ヤスコトニ
ハ相成リマスケレドモ、一方其ノ他ノ甘蔗
其ノ外ノ作付面積モ矢張リ現状程度ニハ維
持シテ參リダイ、決シテ米ノミヲ偏重シテ

○政府委員(北島謙次郎君) 先程來申上ゲ
マシタヤウニ、決シテ從來ハ米穀ヲ特ニ抑
ヘテ、今度又米穀以外ノヤツヲ特ニ抑ヘテ
米穀ノ增産ヲ圖ル、サウ云フヤウナ氣持ニ
於キマシテノ變化ハゴザイマセス、從來デ
モ矢張リ先程申上ゲマシタヤウニ米作ハ殖
エテ居リマスルシ、又今度ト雖モ米穀以外
ノ、例ヘバ甘蔗ノ如キハ、事實ガ非常ノ事
態ニナツテ、背ニ腹ハ代ヘラレナイヤウナ場
合ニデモ立至リマスレバ別問題ト思ヒマス
ガ、現在ノ狀態ガ此ノ儘續クト致シマスレ
バ、矢張リ日本ノ砂糖ノ需給關係カラ申シ
マシテ、現在程度ノ作付面積ヲ維持スルト
云フコトモ是亦必要デハナカラウカト斯様
ニ考ヘテ居リマス、從ツテ今後米ノミヲ特ニ

ニ自然ニ放ツタラカシテ置ケバ、米ガ良イ時
ニハ米バカリ持ヘ、砂糖ガ良イ時ニハ砂糖
バカリ持ヘル、甘蔗バカリ持ヘルト云フヤウ
ニナツテ、非常ニ農民ノ生活ガ不安定ニモ
ナリマスルシ、臺灣全體トシテノ產業ノ發
達カラ見テ面白クナイ、米ダトカ、甘蔗ダ
トカ、或ハ其ノ他ノ農作物トノ間ノ調節ヲ
ナコトヲ抑ヘテ、サウシテ他ノ有用ナ作物
ニ獎勵金ヲ出ス、斯ウ云フ御趣旨デアッタノ
ガ、今度應急特殊ノ事態ニ處シテ米作モ獎
勵シ、増產モ圖リ、又他ノ有用食物モ此處
ニアリマス米作以外ノ食糧農產物並ニ其ノ
加工品ニ對シテ是ダケノ増額ヲスルト云フ
コトニ變ツテ來タノデスカ、ソレヲ承リタイ
ト思ヒマス

重點ヲ置イテ、米以外ノ作物ヲ抑ヘルト云

フヤウナ考モ持ッテ居リマセヌ

○子爵植村家治君 私ハ應急特殊ノ事態ニ

付テ食糧問題ノ萬全ヲ期スルト云フコトガ

一番主眼ニ思シテ居ルケレドモ、唯此ノ立法

ガ出來タ當時ノ理由ガ今日變シテ來テ、丁度

好イヤウニ御當嵌メニナックタノデヤナナイカ

シラト云フ疑問ガアツタカラ、チヨット伺シタ

ノデアリマス、結構デゴザイマス

○國務大臣(井野碩哉君) 内田委員ノ先程

ノ御尋ニ御答へ申上ゲマス、米穀増産獎勵

金ヲ販賣米卽チ管理米ダケニ限シテ、何故自

家用保有米ニモ出サヌカ、斯ウ云フ御質問

ノヤウニ承シテ居リマス、是ハ二ツノ意味ガ

アルノデス、一ツハ、農家ガ自分で食べマ

スモノハ、是ハ自分で作ルノハ當然デアル、

別ニ獎勵金ヲ出シテ迄モ増産ヲ圖ルト云フ

コトデナクトモ、當然自分ノ食ベルモノデ

アルカラ、今迄ノ考へ方デ進ンデ行シテ宜

クハナイカト云フコトガ一ツデアリマス、

管理米即チ販賣米ニナリマスト、自分ノ作

タ米ヲ消費者ノ爲ニ出スノデアリマシテ、

今日、米ノ需要ハ結局全國民ガ平等ニ食糧

ヲ得マス爲ニ生産者ニ努力ヲ願フノデアリ

マスカラ、其ノ氣持カラ申シマシテ、管理

米ニ獎勵金ヲ出スト云フコトニ致シタノデ

アリマス、ソレカラモウ一ツハ、今回ノ獎

勵金制度ハ結局、米價引上ト同シ效果ヲ狙シ

タ譯デゴザイマス、本來カラ申シマスレバ、

今日ノ石當リ四十三圓ノ米價ガ他ノ物價ニ

比シテ割安デアル、結局私共ノ色々ノ計算

カラ考へマスト、五十圓程度ノ米價が今日

ハ適當デアル、即チ今ヨリハ七圓ハ値上

ラシテヤルノガ當然デアルト云フ風ニ考へ

テ居リマシテ、併シ低物價政策ノ見地カラ

米價ノ引上ト云フコトハ困難デアルト云フ

ノデ、獎勵金制度ト二重價格制度及ビ銘柄

格差ノ整理ニ依シテ其ノ七圓ヲ引上ゲタ

シテ同ジ效果ヲ農家ニ與ヘタノデアリマス、假

ニ米價ヲ引上ゲルト致シマスレバ、農家ノ

販賣米ハ影響ヲ受ケマスケレドモ、自家用

米ハ影響ヲ受ケナインデアリマス、幾ラ米

價ヲ引上ゲマシテモ、自分ノ食ベルモノデ

アリマスカラ結局影響ヲ受ケナイン、ソレト

同ジ效果ニアリマスカラ、從シテ販賣米ダケ

ノ獎勵金ヲ付スル、モウ一ツハ、國庫ノ財

政上ノ關係モゴザイマシテ、更ニ自家用保

有米ニ獎勵金ヲ出スコトニナリマスト、更

ニ又數億ノ金ガ要ルコトニナリマス、ソレ

等ノ點ヲ勘案致シマシテ管理米ダケニ限ツ

タ次第デアリマス

○内田重成君 獎勵金ニ對シマスル御説明

ヲ能ク了解致シマシタ、私ハ此ノ際丁度大

臣御出ゴザイマスルノデ、只今坊城委員

爆下ニ於ケル食糧ノ貯藏分配ニ付キマシテ、

居ルコトデアラウト思フノデアリマス、何

分食糧デアリマスルカラ、一日三度直チニ

要ルモノデ、アトデ計算スルト云フ譯ニハ

デアルカ、豫々縣ノ方トハ御連絡ニ相成ツテ

供給ノ方法ニ付キマシテハ、農林當局トシ

テハドウ云フ風ニ是ハ御處置ニ相成ルモノ

ノデ、サウ云フ場合ノ逃避者ニ對スル食糧

類縁者ヲ頼ラレテ大都市カラ相當多數ノ人

數ガ地方殊ニ山村農村等ニ入込ミマシタ場

合ニ、之ニ供給スル食糧ト云フモノハ持ッテ

居ラヌ、又都市カラ地方ニ逃避シマスル老幼

者ハ自ラ食糧ヲ携帶スルスルコトハ出來ナ

イ状態、又許サレテ居ラヌデアラウト思フ、

之ニ對スル處置即チ方法ニ付キマシテハ、

豫メ是ハ研究サレテアルベキ筈デアルト思

フノデアリマス、私窺ニ内務省防空當局ニ

承リマシタガ、此ノ點ニ付テハ未ダ自分ノ方

ノ主掌デナイカラ研究シテ居ラヌト、ソレ

デ是ハ當然起ルベキ現象デアラウト考ヘル

ノデ、サウ云フ場合ノ逃避者ニ對スル食糧

ノ老人ナリ、子供ナリガ避難致シマスル方

面ニ對シテノ用意ハ、東京市或ハ其ノ他ノ

都市カラ非常ニ遠クニ参リマス場合ハ、是

都市カラ非常ニ遠クニ参リマス場合ハ、是

ハ其ノ地方デ以テ又別ニ考ヘナケレバナリ

マセヌガ、近クノ場合ハ大體東京市ニ貯藏

シテ居リマスモノヲ或程度ソチラニ廻スト

云フ手順モ致シテ居リマス、併シ輸送機關

等ガ非常ニ爆破ノ爲ニ通シナイト云フコト

モ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、若シ

モサウ云フ事態ニナリマスレバ避難シマシ

タ時ニ直グ其ノ方面ニソレニ相當スルモノ

ダケハ廻シテ置クト云フ手順モ致ス積リデ

居リマス、實際ニドレダケノ數ガドノ地方

ニ行クカト云フ計畫ハマダ出来上ッテ居リ

マセヌノデ、今的確ニ何處ヘドウト云フコ

トハ申上ゲ兼ネルノデアリマスケレドモ、

サウ云タヤウナ手順ハ絶エズ司令部トモ

連絡ヲ取りマシテ、サウシテ空爆下ニ於ケ

ル食糧不安ノナイヤウニ期シタイト思ッテ

居リマス

○子爵織田信恒君 今ノ御話ニ關係シタコ

トデ食糧局長官ニチヨット御伺ヒ致シタイ

ト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵黒木三次君) 宜シウゴザイ

マス

○子爵織田信恒君 空爆下ノ都市ノ食糧貯

藏ノコトガ先程カラ御話ニアッダ譯デアリ

マス、私ハ曾テ高速度鐵道ノ營團ガ今度東

京ニ地下鐵ヲ建設スルト云フ話ガアリマシ

タ時、鐵道省ニソレハ丁度好イ機會ダカ

コトハ出來ナイコトニナルノデヤナカト

思フノデアリマス、ソレ等ノ點ハ防空司令

部トモ連絡ヲ取リマシテ、大體ドノ位ノ人

間ガ東京ニ残り、後ハ地方ニ出ルト云フ風

シテ居リマシテ、併シ低物價政策ノ見地カラ

ナ數字的ノ相談モ致シテ居リマス、從シテ親

其ノ食糧倉庫ト云フモノハ寧ロ農林省ノ所
管ノ問題デアルナラバ、農林省カラモ少シ
金ヲ出シテ貰ツテ、豫算ヲ取ツテ貰ツテ、サウ
シテ要所々ニ地下食糧倉庫ヲ造ルト云フ
ヤウナコトヲ併セテ考ヘラレタラ經濟的デ
アルシ、市民モ非常ニ安心ヲ將來ニ得ルノ
デヤナイカト云フ御話ヲ申上ダタコトガア
リマシタノデスガ、其ノ後サウ云フ計畫ガ
アルノカドウカ、全ク承ッテ居ラナイノデア
リマス、丁度好イ機會デアリマスカラ改メ
テソレヲ又モウ一遍申上ダマスガ、サウ云
フ御計畫ガアルカ、又ソレガ妥當デアルカ、
或ハ私マダ技術的ノコトハ分リマセヌノ
デ、サウ云フモノヲ造ツテモ無駄ト云フ結
論ガ出レバは致シ方ガゴザイマセヌ、ソレ
ガ良イ考ダト云フナラバ積極的ニサウ云フ
方面ニ仕事ヲシテ行カレタラドウカ、斯ウ
云フ風ナ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、
如何デゴザイマセウカ

デゴザイマスガ、實ハ經費資材ノ關係カラソレデ今度先程大臣モ説明致シマシタヤウニ、緊急對策トシテ食糧ノ豫備貯藏ヲ空襲ノ虞レノアル地帶ニヤツテ居リマス、政府ト致シマシテハ、矢張リ倉庫ヲ造リマシテ、足リマセヌ從來ノ設備ヲ擴充致シテヤツテ參リタイ積リデゴザイマス、過般豫備金ノ支出ヲ求メマシテ各地ニ倉庫ノ建設ヲ始メマシタ、併シ御承知ノヤウナ今時局下デゴザイマスノデ、土地ハ手ニ入リマシテモ、扱テ建テマスノニ色々建築資材ニ非常ニ窮屈ヲ感ジテ居リマス、併シ全力ヲ擧ゲマシテヤツテ居リマス、遅レバセデゴザイマスガ、一ツ出來上リ次第利用スペクヤツテ居ル、此ノ考ト致シマシテハ寧ロ現在存在スル倉庫設備ハ、是ハ出來ルダケ一ツ利用スルヤウニ考ヘマシテ、只今ノ倉庫ノ狀態ハ兎角下町方面ニ集マツテ居リマスガ、之ヲ山ノ手ノ方ニモ、或ハ郊外ノ方ニモ、新地域ニ亘リマシテ分散シテ參リタイト云フ考ヲ持ツテ居リマスシ、ソレカラ今度造リマスル若干ノ設備デゴザイマスガ、是等ニ付キマシテハ是非一ツ廻着ノ事情等モ考ヘマシテ、山ノ手線ノ沿線等ヲ實ハ物色致シマシテ土地ヲ決メタノデゴザイマス、我々ノ考ト致シマシテハ大體一ヶ月分位ノモノヲ玄米トシテ市内ノ各地域ニ分散シテ貯藏ジテ置キタイト云フ考ヲ致シマスルト共ニ、更ニイザト云フ迫リマシタ時ニハ、玄米デハ市民ガ困ルノデアリマスカラ、白米ニ致シマシタ政府米ヲ、普通ノ配給米ノ外ニ五日分、是ハ各配給所ニ一ツ政府米ノ儘デ保存シテ置キマシテ、イザ事ノ起リマシタ時ニソレヲ解除シテ市民ニ配給シテ事缺カナ

イヤウニ致シタイ、只今デハ玄米ノ分散貯
藏ノ方ハ大體手配ヲ濟マセマシタ、白米ノ
保管ヲ頼ミマスコトハ寧ロ刺戟的デ宜シク
ナイト云フコトヲ考ヘマシテ、政府ノ倉庫
ニモ保管ヲ頼メル白米ノ準備ガ出来テ居リ
マス、是ハモウ少シ事態ノ變リマシタ時デ
ナイト出サナイト云フ考ヲ致シテ居リマス、
御質問ノ方ト少シ離レマシタガ、大體ソソ
ナ手順ニナッテ居リマス

○子爵織田信恒君 私ガ地下ニ倉庫ヲ造ル
コトノ方ガ宜ノイノデヤナイカト云フコトハ、
恐ラク想像シマスト、爆弾ヲ投下サレタ時
ニ、東京市ト云フモノノ一番心配スルコト
ハ爆弾其ノモノヨリモ火災ダラウト思フ、
焼ケルト云フコトノ方ガ多クノ被害ノ中心問
題ニナルノダラウト思フ、其ノ時ニ地上ニ
普通ノ木造ノ倉庫ヲ建テ、置キマスト、折
角貯藏シタモノノ忽チ焼イテシマフ虞レガ
十分ニアルノミナラズ、地上ノ交通ト云フ
モノハ非常ナ混亂状態ニ陥シテシマフ、サウ
云フ時ニハ地下道ト云フモノガ非常ナ安全
ナ整理ノシ好イ、人ノ歩ク道ニナルノデハ
ナカラウカト思フ、無論地下道ガ崩レ、バ、
所々「マンホール」カラ出タリ入ッタリスル
ヤウナ場面ガ出來ルカモ知レマセスガ、地
上ヨリ地下ノ方ガ安全ナ道路ニナルノデア
ラウト思ヒマス、ソレデ私ハ今度造ル地下鐵
ノ脇ニハ、細イノデモ宜イカラ道路ヲ造ツタ
ラ宜イデセウト云フコトヲ主張シテ、ソレ
ニイザト云フ時ニ地上ヨリ地下ニ安全ナ道
路ヲ造ツテ、秩序良ク始末シテ貰ヒタイトイ
フ意味カラ、私ハ鐵道省ニ申上ガタ譯ニア
リマスガ、矢張リ倉庫モ同様ニ、地上ニ折
角造ラレテモ、イザト云フ時ニ焼ケチャッタ
ラ勿體ナイ話デ無駄ナコトニナッテシマフ

ガ澤山アリマス、地下ニ物ヲシマシテモ、マア六尺位深ク掘ヅダ所ヘ物ヲ入レタラ焼ケナイデ、繩モ焦ガナイデ殘ツテ居タト云フ例
ノ地下鐵ガ、將來ノ計畫ハドウカ知リマセヌガ、所謂「アンダー・グラウンド」デナク、所謂「サブウエイ」ト云フ式デヤツテ行クト
スレバ、其處ニ簡單ナ地下倉庫ヲ造ルト云フコトハ、サウ經費ノ掛ルコトデハナイ、寧ロ地上ニ建設シテ燒ケナイモノヲ建テル
ダケノ經費ヨリモ少ツトズツト下デ出來ハシナイカ、資材ナンゾハ地上デヤレバ木材ヤ
何カガ澤山要ルダラウガ、地下ダッタラ却テ
資材ガ少クテ片付ケラレルノデヤナイカ、
「コンクリート」等ハ要ルデセウケレドモ、
……ソンナ氣モシマス、サウ云フコトハ能
ク分リマセスガ、兎ニ角空襲下ニ於ケル都
會ノ一番ノ脅威ハ火災デアル、此ノ火災ニ
對スル安全性ヲ持タナイ倉庫ハ無意味デア
ル、斯ウ云フ點カラ地下倉庫ヲ丁度好イ機
會ダカラ造ラレタイ、斯ウ云フ意味デ申上
ガタノデアリマス、是ハ御参考迄ニ申上ゲ
タノデアリマス

所ハ、寧ロ都心ニ入ツテ來ル入口ノ所、詰リ火災ノ際ニ色々混亂モ致シマセウガ、併シ其ノ道端ニ造ツテ晉イテ、サウンシテ而モ割合人衆等ノ混ンデ居ラナイ、外カラノ被害ノ比較的來ナイヤウナ所ヲ選ビタイ、サウ致シマスト、先程申シマシタヤウニ配達ノ點カラ申シマシテモ、大體山手線カラ新市内ノ地域ヲ選ビタイ、今度建テマス倉庫ニ付キマシテハ、大體サウ云フ風ナ所ヲ狙ヒマシタノデゴザイマス、唯如何セン從來ノ倉庫ハ相當市内ニアルノデアリマス、之ヲ利用シナサイコトニハ逆モ十分ニハ參リマセヌノデ、是ハ若干ノ危險ヲ冒シマシテモ其處ニ保存スル、サウ致シマスルト、先程大臣モチヨット申シマシタヤウニ、ドウシテモ餘程シッカリ此ノ配給ニ當ル人間ニ之ヲ死守シテ貰ハナケレバナラヌト云フコトカラ致シマシテ、イザト云フ場合ノ配給擔當者ノ訓練ト云フヤウナコトニモ、一ツ出來ルダケ危イコトガアツテモ其ノ職場ヲ去ラヌト云フ風ナ氣持ニナツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ナコトデヤツテ參ルコトガ現時ニ於テ適當ダト思ヒマシテ、今尙御注意戴キマンタ點等ハ將來ノ爲ニモ十分、我々ノ方モマダ考へハ出來テ居リマセヌガ、將來ハ考へテ行キタイト思ヒマス

トキハ大藏省預金部ニ之ヲ預入レルコトヲ
ヲ設ケラレタルコトハアルノカ、又預金部
ニ入レラレタヤウナコトモ過去ニアリマス
カ、又現在ハドウ云フ状態デアルカ、ソレ
カラ更ニ附則ノ第二項デゴザイマス、是ハ
先ツキ臺灣ノ方ノ法案ニ對シテ一委員カラ質
問ガアリマシタノト同ジデゴザイマスガ、
是ハ當分ノ内必要アリト認ムル時ハ云々ト
云フコトガアル、其ノ當分ノ内ト云フノハ
制定サレタノハ何デゴザイマスカ、是ハ昭
和九年法律第二十九號ニ於テ制定セラレタ
其ノ時カラ今日迄八年掛テ居ル、當分ノ内
ト云フノハ、此ノ八年間脱マレ居ルト云
フコトモ一寸法文ノ體裁上ハ如何カト思ハ
レルノデス、當分ノ内ト云フ字ハ不必要ノ
文字ヂヤナイカ、今後之ヲ十二億五千萬圓
ニ改正致シマシテモ、或ハ必要ガアル時ニ
ハ一、二年デ改正ヲ要スルコトモアリマセウ
シ、又此ノ例ノ如クニ八年或ハ十年後ニ改
正ヲスルト云フノニ、當分ノ内ト云フコトハ
法文ノ體裁上カラモ不必要ノモノデ、此ノ文
字ダケハ削除スルノガ至當ヂヤナイカ、削除
シテモ實質ニ何ノ關係ナクシテ、寧ロ八年間
迄當分ノ内デ以テ持ツテ行クト云フコトノ方
ガ奇怪ニ感ジラレルノデスガ、是ハ體裁上
ノ問題デ實質ニ關係ナイノデアリマスガ、
是等ノ問題ニ付テ参考ニ御説明ヲ仰ギタイ
ノデアリマス

場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ
コトヲ得」ト云フ規定ガアルノデアリマス、
ソレデ最近ノ情勢カラ、少クトモ私共關係
ヲ致シマシテカラ此ノ規定ヲ動カシタコト
ハゴザイマセヌガ、元斯ウ云フ必要ガゴザ
イマシテ、ソレニ即應スル特別會計法ノ改
正ト云フコトカラ出來マシタ貸付法ノ規定
デアルト承知致シテ居リマス、ソレカラ豫
備金ノコトデゴザイマスガ、是ハ實ハ現在
デモ豫算上ニ特別會計ノ豫算トシテ出テ居
リマス、第六條ノ二デゴザイマスガ、之ニ
依リマシテ只今三千萬圓バカリ計上致シテ
アルノデアリマス、是ハ米ノ買入ガ殖エマ
シタリナド致シマシテ事業費ガ足リナクナ
ルト云フ風ナ場合ニハ此ノ豫備費ヲ使ハシ
テ行クコトニ致シテ居リマス、ソレカラ尙
此ノ預入ノ問題デアリマスガ、預金部ニ預
入レルト云フコトニナシテ居リマスガ、是ハ
現ニ第七條デゴザイマスガ、是ハ現ニ始終
ヤツテ居リマス、政府ガ米ヲ賣拂ヒマシテ、
其ノ代金ヲ收納致シマスルト、其ノ代金ヲ
以チマシテ米穀證券ノ償還ヲ致シマス、ソ
レ迄ノ間澤山金ガ溜マリマス、是ハ全部一
一預金部へ入レテ居リマス、ソレカラ最後
ニ附則ノ第一項ノ當分ノ内ト云フノハモウ
八年モ經ツテ居ルデヤナイカト云フ御詰デ
ゴザイマスガ、此ノ點ハ始終私達モ聊カ奇
異ノ感ジモ致シマスガ、此ノ昭和九年ノ法
律第二十九號ハ當時朝鮮米ノ移入ヲ調節致
シマシタ時ニ臨時ニ作ル必要ガゴザイマシ
テ、政府ガ買フト云フ必要カラ此ノ資金限
度ノ増額ヲ致シタノデゴザイマス、實ハソ
レダケ特別會計ガ大キクナツタ譯デアリマ

ス、ドウモ大キクナリマシタモノハナカ／＼縮マラナイノデアリマス、併シ此ノ立法ノ當時ニ於キマシテハ、特ニ必要ノアッタ時ニハ特ニ大キク出シ得ルゾト云フ意味ノ權限ガ當分ノ内與ヘラレテ居ッタト云フコトデアッタカト思フノデアリマス、處ガ實際ノ所此ノ前ノ議會ニ於キマシテモ實ハ此ノ點ノ關スル法律ノ規定ニ依リマシテ、從來三億圓ノ範圍内デト云フコトガ書イテゴザイマシタノヲ、御覽ノ通り五億五千萬圓ニ御改正ヲ願ッタノデアリマス、ドウモサウ云フ風ナ必要ガ時々出テ參リマス、此ノ問題ハ根本的ニハ米穀需給調節特別會計ソレ自體ノ根本的制度ノ問題ト致シマシテ、只今御話ノ如クニ之ヲ本文デ解決スルト云フノモノダグト思ヒマス、大體取敢ヘズ増額致シテ置キマシテ、此ノ増額ノ結果ノ處置等ニ付キマシテハ、此ノ會計制度ノ根本的建直シノ時ニ考ヘルト云フノデ、當分ノ内一時のノ措置ト云フコトニナツテ居ルト云フヤウニ了解致シテ居リマス

係デヤナイカト思ハレマス、従ツテ豫備費ト
云フモノノ上ニ増額其ノ他ノ御考慮ト云フ
モノハアッタモノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ

ウナ大都市ヘノ供給上カラ見マシテモ之ヲ
繼續スルコトガ宜シイノデハナカラウカト
考ヘルノデアリマス、モウ一ツハ肥料ノ配
給ニ付デアリマスガ、此ノ北陸、東北一
皆、方面、丰富ニ疊ガ且フ事ニ、麗ニ自ニ

タノデアリマスガ、是等ニ對シテハ當局ノ
御考ハ如何ナモノデアリマセウカ
○國務大臣(井野碩哉君) 只今飯塚委員ノ
御質問ノ第一點ノ早場米獎勵金ヲ明年度チ

ルト云フ色々ノ事情ガ今日ハ發生シテ參ッタ
ノデアリマス、從ダテ政府トシマシテハ、
明年カラハ特ニ早場米ヲ獎勵シテ迄モ多ク
作ッテ戴クト云フ必要ガナクナッテ參リマ
ス。

○政府委員(湯河元威君)　此ハ臨時議會ニ
御協賛ヲ願ヒマスル特別會計ノ豫算ノ方ニ
於キマシテハ、大體現在ノ豫備費三千萬圓
ヲ支出致シマスレバ此ノ三月迄ノ事業ニ於
ニアリ、六萬五千石ニ及ぶト算ニ也

帶ノ方面ノ非常ニ雪ガ早ク降リ過夕消エ
ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、肥料ノ配
給ニ付キマシテモ月々其ノ配給ガ決ッテ居
ルサウデアリマスガ、殊ニ春ナドハ雪ガ消
エルヤ直チニ田圃ニ入ル、或ハ又人工的ニ
灰ヲ散クトカシテ早ク雪ヲ消シテ田圃ニ入

元來早場米獎勵金ト申シマスノハ、政府が米ノ管理ヲ致シマセヌ時ニ、米ノ市場出廻リガ自由デアリマス時ニ、米ノ端境期、即チ十月三十一日カラ十一月ニ亘リマシテノ由ノ端竟明持分ニ、毎手代ガ非常ニ逼迫シ

シタハ元 明年九月ハ獎勵金ヲ交付シナ
イ、本年モ實ハ其ノ必要ハ餘程薄ライデ居
リマシタノデ、シナイ積リデ居ツタノデ
アリマスガ、農民ハ其ノ獎勵金ガ出ルモ
ノト思ツテ作ツテ居リマシタカラ、其ノ期
寺ヲ裏切ツテハ惡イト思ニマソテ、作手ヨ

○飯塚知信君 私へ下意上通ノ意味デチョツ
レバナラヌト考ヘテ居リマス
不都合ノナイヤウニ豫算ヲ立テ行カナケ
シテハ、通常議會ノ節等ニハ十分其ノ點モ
致シテ居リマセヌ、來年度ノ豫算ニ付キマ
透シカ立テ居リハノハテ△度ノ豫備費ハ

此ノ端身其時分ニ、吾年米ナ非當ニ運送テ來ル事情ガアツタノデアリマス、其ノ時ニ偶、新潟、富山、石川、即チ北陸方面ノ米ガ早ク取レマスノデ、ソレガ早ク出廻ツテ貰ヒマスレバ、非常ニ其ノ供給ヲ緩和スルト云フ立場ニアツタノデアリマス、又其ノ當時價格モ公定サレマセヌデシタカラ、其ノ當時ノ米ハ比較的高ク賣レタト云フ關係ガアリ

特ニ本年度限り獎勵金ヲ出スト云フコトヲ私トシテ聲明致シマシテ、本年度獎勵金ヲ出シタヤウナ次第デアリマスルカラ、明年度カラハ此ノ獎勵金ハ出ナイモノト御了承願ヒマシテ、其ノ積リデ生産ヲ御願ヒ致シタイト考ヘルノデアリマス、第二點ノ肥シタル件、開港地ノリマスベ、是モ坐交裏

リハ幾分少イ額デアリマシタケレドモ、特ニ本年度限り獎勵金ヲ出スト云フコトヲ私トシテ聲明致シマシテ、本年度獎勵金ヲ出シタヤウナ次第デアリマスルカラ、明年度カラハ此ノ獎勵金ハ出ナイモノト御了承願ヒマシテ、其ノ積リデ生産ヲ御願ヒ致シタイト考ヘルノデアリマス、第一點ノ肥料ノ配給ノ問題デアリマスガ、是モ從來農村ニ巴斗ガ適當ノ時期ニ來トヨロ、ニ志ツ

スカ
新潟縣ノシマシテハ、本年ハ四百一
十七萬石ノ増産ヲ目標ト致シマシテ縣當局
ハ非常ニ馬力ヲ掛ケテ居ツタノデアリマス、
然ル處ガ、十月ノ二十日デアリマスカ、第

カラ、圓滑ヲ缺クヤウナ嫌ヒガアルヤウニ
思ハレマス、又農村ノ自治體ノ圓滿ナル發達
運用カラ見マシテモ、斯ウ云フヤウナモノガ
二本建ト云フヤウナ恰好ニナシテ居リマスノ

過渡期ニ於キマシテハ、獎勵金ヲ交付シマス。モ出シタノデアリマス、併シ國家管理ガ強

木ノ財米六通官ノ時事ニテテノニ日本ニ於
テ非常ニ能率ヲ落スト云フ色々ノ御非難ガ
アツタノデアリマス、其ノ爲ニ政府トシマ
シテモ生産會社ト密接ナル連絡ヲ取リマシ
テ、適期配給ニ努力ヲ致シテ參ツテ居リマ

十三萬八千石ト云フ數字ガ出マシテ、五十
二萬石ト云フ減收ノヤウニ發表サレタノデ
アリマス、是ハ主トシテ早場米ノ關係モア
リ、又色々ナ原因カラスウ云フヤウナ工合
ニナツタノデアリマセウガ、此ノ新潟縣ノミ
ナラズ、東北、北陸一帶ハ早場米ヲ從來カ
ラ政府モ獎勵シテ居ツタノデアリマスガ、殊
ニ新潟縣ハ本年ハ二十三萬圓ト云フ交付金
ヲ受クルコトニナツテ居ルノデアリマス、然
ルニ當局ハ明年ハ此ノ獎勵金ヲ打切ルヤニ
聞イテ居リマスガ、是ハ天候ノ關係モアリ、
且又端境期ニ於ケル東京竝ニ大阪ト云フヤ

ハドウカト思ヒマスノデ、是等ヲ一元化サレテハ如何ナモノニアリマスカ、又斯様ナ交付金、獎勵金ト云フヤウナモノノ從來ハ毎年會計年度ガ終ヘマシテカラ交付ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ實際ト致シマシテハ聊カ事實ニ即應シナイヤウナ感ガアリマスノデ、之ヲ年度中ニ少シ早メテ御交付ニナツテハ如何デアリマスカ、最後ニモウーツ伺ヒタインオハ、是ハ去ル十月ノ新潟縣ノ大政翼賛會ノ協力會議ニ於テ、自作農創設トカ、或ハ適正小作料ノ設定、或ハ耕地ノ交換分合ト云フヤウナコトガ議題ニナツ

居リマスルカラ、最近ニ於キマシテハ端境期ニ於キマシテ、是非早場米ヲ作ツテ貰ハナスルト、收穫量ノ點ニ於キマシテモドチラケレバナラスト云フ事情ガ餘程薄クナッタノデアリマス、農作方面カラ見マスルト、早場米ノミヲ多ク作ルト云フコトニナリマスルト、收穫量ノ點ニ於キマシテモドチラカト云フト少イ、又麥ノ裏作等ノ關係カラ由考ヘテ見マスルト云フト、勞力關係カラ申シマシテモ、寧ロ早場米ヨリハ其ノ縣々に於テハ中生、晚生ヲ作ツテ貰フ方ガ適當デアリ

ス、昨年本年ニ至リマシテ段々ト其ノ點ハ
故善サレテ參リマシテ、今日デハ農村デモ
非常ニ能ク時期ヲ誤タズニ配給シテ吳レル
ト言ツテ、大分喜ンデ吳レテ居ルノデアリ
マス、殊ニ只今御話ノヤウナ雪ノ深イ方面
ニ付キマシテハ、其ノ點ヲ十分考慮致シテ
居リマシテ、明年ノ肥料ニ對シマシテハ本
年カラ豫備的ニ或數量ヲ多ク配給致シテ居
リマス、即チ明年度分ノ肥料ヲ本年度内ニ
於テ既ニ配給致シテ居リマスカラ、ソレ等
ヲ必要ナ所ニ早ク配給スルコトニ依リマシ
テ、此ノ點ハ解決シテ居ルモノト考ヘテ居

ルノデアリマス、第三ノ市町村ト農會ヲ一元化スル方ガ地方ノ事情ニ即スルノデハナカラウカト云フ御尋デゴザイマスルガ、此ノ點モ獎勵金其ノ他ノ問題カラ、簡單ニ片附ケル譯ニ行カナイ色々ノ事情ガアルノデアリマス、從來農會ナリ産業組合ト云フモノガ、町村内ニ於て別個ノ自治機關トシテ發達シテ參リマシタ沿革ヲ顧ミテ見マスルト、市町村ハ市町村行政事務ガ非常ニ複雜シテ居リマスノデ、産業方面ニ對シテ十分ナ費用モ使ヒ又能力ヲ割クト云フコトガ困難ナ状態デアリマシテ、ドウシテモ農民自體カラ見マスルト云フト、自ラノ自治機關ヲ別個ニ持ツコトニ依ツテ初メテ其ノ能率ヲ發揮シ得ルト云フ事態デアッタノデアリマス、是ガ、農會ナリ産業組合ガ自然ニ農民ノ自治機關トシテ發達シテ來タ狀態デアルノデアリマスガ、今日ニ於キマシテモ市町村ト農會トハ自ラ其ノ働くマス分野ガ違ツテ居リマシテ、今之ヲ一ツニスルト云フコトニナリマスト、結局又元ノ市町村行政事務ト云フモノニ主眼ガ置カレマシテ、産業事務ガ疎カニナルト云フ嫌ヒガゴザイマスノデ、此ノ點ハ矢張リ目的ガ違フノデアリマスカラ、二本建ニシテ進ムコトガ適當デアルト考ヘテ居リマス、唯兩者ノ連絡ヲ密ニスルコトハ、是ハ大切デゴザイマスルカラ、適當ナル人ヲ得マスレバ、或ハ市町村長ト農會長ヲ兼ネルトカ、又産業組合長ト市町村長ヲ兼ネルト云フヤウナ進ミ方ハ採ラシテ居リマス、併シ全然兩者ヲ合一スルト云フコトニ付キマシテハ、政府トシテハ今迄考ヘテ居ラナイノデアリマス、又獎勵金ノ交付ノ時期ニ付キマシテモ、今御話ノヤウニ、四月過ニ獎勵金ガ來ルコトニ依リマシテ農民

ガ非常ニ迷惑ヲ蒙ルト云フコトモ、曾テハアッタノデゴザイマスルガ、今日ハ大體サウ云ツタヤウナ點ニ付テハ十分留意ヲ致シマシテ、豫算ガ成立致シマスレバ、豫算補助デ差支ナイモノハ出來ルダケ年度ノ當初ニ多ク配付致シテ居リマス、先般成立致シマシタ三千萬圓ノ補助金ノ如キモ、本年ノ五月頃既ニ各府縣ニ其ノ割當ヲアシテ居ルノデアリマス、唯決算補助ト申シマシテ、倉庫ヲ建テマシタリ或ハ其ノ他ノ設備ヲ作リマシテ、ソレニ對シテノ補助ヲ致シマス場合ニハ、是ハ出來上リマセヌト補助金が出セマセヌカラ、其ノ點ダケハ竣功後ニ出シマスノデ、年度當初ニハ出シ得ナイト云フ事情ガアルノデアリマス、第四點ノ自作農創設、耕地分合等ノ問題ニ付キマシテノ御尋ネデアリマスガ、自作農創設ハ是ハ政府モ非常ニ必要ナコトデアル、今日増産ニ邁進致シマス爲ニハ、小作農ヨリ自作ノ方が能率ガ多ク舉ガルト云フコトハ、是ハモウ明カナコトデアルノデアリマスカラ、出来ルダケ小作農家ヲシテ自作農家ニ移ラシメタイト云フ氣持デ、色々ノ獎勵施設ヲ致シテ居リマス、併シ唯今日自作農創設獎勵制度モ其ノ規模ガ非常ニ大キクゴザイマセヌカラ、政府ガ庶幾シテ居リマズ通リノ自作農ハ出來上リマセヌガ、併シ色々ノ手段ニ依リマシテサウ云ツタ方面ニハ力ヲ盡シテ参リタイト考ヘテ居リマス、耕地ノ交換分合ノ問題ニ付キマシテモ、是モ勞力不足ノ今日、耕地ヲ交換分合致シマスコトハ、其ノ能率ヲ増進スル所以デアリマスカラ、其ノ方面ニ對シマシテモ色々ノ施設ヲ致シテ参リタイト考ヘテ居リマス、今日耕地整理組合法其ノ他色々スウ云ツタ爲ノ法制

モ出來テ居リマスルケレドモ、尙ホ不十分ナ所
ガアリマスルノデ、其ノ點モ考慮シテ參リ
タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第アリマ
ス
○飯塚知信君 適正小作料ニ付テハ如何様
デセウカ
○國務大臣(井野頃哉君) 適正小作料ノ問
題ニ付キマシテハ、先般小作料等統制令ト
云フ勅令ヲ出シマシテ、今日ノ小作料ヲ引
上ゲルト云フコトヲ停止セシメ、且又非常
ニ不均衡ナ小作料ハ是正セシムルヤウニ
ナッテ居リマス、アノ勅令ノ運用ニ依リマシ
テ、今日政府トシテハ小作料問題ノ解決ニ
當ツテ居ルノアリマスルガ、適正小作料ト
云フコトガ假ニ確定シ得マスレバ、是ハ私
ハ非常ニ結構ナコトデヤナイカト思ッテ居
リマス、適正デアルノアリマスルカラ、
適正ナル小作料ガ出来ルト云フコトハ結構
ナコトデアリマスルケレドモ、小作料ハ御
承知ノ通り地方ニ於テ非常ニ事情ガ匾々ニ
ナッテ居リマスノデ、中央政府ニ於キマシテ
全國的ニ適正小作料ヲ決メルコトハナカナ
カ困難ナ事情ニアルノアリマス、從ツテ只
今デハ各縣々ニ於テ其ノ事情ニ應ジマシテ、
適正小作料ガ其ノ地方ニ立チ得ル所ハ、政
府モ地方長官ト相談致シマシテ、サウ云ッタ
ヤウナ標準ヲ作ツテ居リマスケレドモ、マダ
全國的ニ適正小作料ヲ決メルト云フ所迄ハ
立至ツテ居ラナイノニアリマス
○飯塚知信君 ドウモ有難ウゴザイマス
○委員長(伯爵黒木三_三次君) 如何デゴザイ
マセウカ、御諮詢致シマスガ、十二時以後
ニナリマスノデ、一旦休憩致シマシテ、午
後ハ一時半ニ再開致シタイト思ヒマス
○宮田光雄君 長過ぎマスネ、一時カラヤッ

○委員長(伯爵黒木三次君) 只今宮田委員
カラ御話モアリマスノデ、急グ必要モアリ
マスカラ、一時ト變ヘタイト存ジマス
積リデ……ソレデハ休憩致シマス

午後零時二分休憩

午後一時八分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ午前ニ引
續キマシテ、是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、
赤池君

○赤池灑君 先程農林大臣カラシテ根本ノ
御話ガアリマシタ、御話ヲ承ッテ居ルコトヲ、御
シ疑義ヲ生ズルコトガアリマスモノデスカ
ラ、此ノ際ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソ
レカラ尙平素チヨット疑ッテ居ルコトヲ、御
出デノ時ヲ幸ト致シマシテ御尋ネシタイト
思フノデアリマス、食糧問題ガ段々深刻ニ
ナツテ参リマシタ、併シマダ我ガ國ニ於テノ
食糧問題ハ要スルニ胃ノ腑ノ問題、榮養ノ
問題デアルノデアリマスガ、「ヨーロッパ」
ニ於テハ是ガ既ニ政治問題、外交問題ニ化
シテ居ル、政治問題トシテハ勤惰ニ依ッテ食
糧ノ配給ヲ異ニスルトカ、或ハ外交トシテ
ハ自分ノ方ニ好意ヲ持ツモノト不好意ヲ持
ツモノトニ依ッテ配給ノ程度ヲ變ヘルト云
フヤウナ、サウ云フ風ニナツテ來テ居ルノデ
アリマスガ、幸ヒ我ガ國ニ於テハサウ云フコト
迄ナクテ、サウシテ配給問題ガ一番ノ中心
ニナツテ居ルノハ、是ハ誠ニ仕合セナコトダ
ト思ツテ居リマスガ、併シ若シモ食糧ガ今後
不足ヲ加ヘル場合ニ於テハ將來政治問題ト

ノ際農林當局ニ於テハ萬全ノ方法ヲ御講ジニナルコトヲ御願ヒシタイト思^テ居ルノデアリマス、又サウ御講ジニナルモノト信ジテ居ルノデアリマスガ、就キマシテハ私共ハ此ノ非常ニ食糧問題ニ付テハサウナラナイ中カラシテ色々ナコトヲ御尋モシ、サウシテ尙自分ノ安心ノ行クヤウニシタイト思フノデアリマス、先程農林大臣ハ今年ノ米ハ大體ニ於テ安心デアルト云フヤウナ風ノ御話ニ承リマシタノデアリマス、殊ニ現在ノ有リ高ノ米ハ昨年ヨリモ多イト云フヤウナコトデアリマシテ、是ハ誠ニ仕合セダト思ヒマスガ、又其ノ中ニ第一回ノ豫想ヨリハ今回ノ第二回ノ豫想ト云フモノハ減ズルダラウト云フヤウナ御話ヲ承リマシテ我々ニ大變暗イ氣持ヲ抱カシメタノデアリマス、私ハ非常ニソレニ付キマシテ尙慮シテ居ル者デアリマス、ト申シマスノハ第一回ノ農林省ノ發表ニ依リマスト、私共ハ現ニ聞イタリ見タリスル所カラ見ルト寧ロ樂觀シテハ居ヤシナイカト云フ當時疑ガアリマシタ、幸ヒ農林省ノ發表ノヤウナ風ノ收穫ヲ得レバ大變仕合セダト思^テ居ツタノデアリマスガ、更ニ今度刈入ノ状況ヲ聽イテ居ルノデアリマスルカラ、餘程ノ減收ダハ非常ニ減收ダ、所謂天候ノ關係カラカ收穫量ガ甚ダ少イト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマスルカラ、餘程ノ減收ダラウト想像スルノデアリマス、サウスル又先程外米ノ輸入ニ付キマシテモ大變樂觀別ノ御配慮ヲ必要トシハシナイカト云フ懸念ガ多クナツテ參リマシタ、ソレカラ付テハ非常ニ杞憂ヲ抱イテ居ルノデアリマスガ、就キマシテモ大變樂觀ノ御話ガアリマシタガ、私ハ外米ノ輸入ニ御話ガアリマシタガ、私ハ外米ノ輸入ニ付テハ非常ニ杞憂ヲ抱イテ居ルノデアリマスガ、就キマシテモ大變樂觀

ス、併シナガラ此ノ杞憂ノ程度ヲ此處デ敢テ申上ゲモシマセヌ、唯豫定ノ如ク輸入サレ、バ大變仕合セダ、之ニ付テハ政府ニ萬全ノ努力ヲ願ヒタイト云フコトダケヲ述ベテ置キマシテ、ドンナ風ニナルカト云フコトハ強ヒテ御答ヲ求メマセヌ、飽ク迄十分ナ御努力ヲ願ヒタイト云フコトニ致シテ置キマス、ソレカラ次ニハ代用食ノ方デ御話ガアリマシタガ、主產物ノ米竝ニ麥ト云フモノガ今見タイナヤウナ狀況ダトスルト、代用食、芋トカ馬鈴薯トカニ向ッテ全力ヲ注グト云フコトニ付キマシテハ尤モダト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ私ハ御尋ネシタインハ所謂府縣「ブロック」ト申シマスカ、知事ノ方ノ許可ノ關係ト云フヤウナコトカラ芋ヲ澤山腐ラカシテシマッタト云フコトガ盛ニ新聞ニ載ツテ居ルノデアリマス、其ノ額モ少ナカラザル額デアリマシテ、我ハ新聞ノ數字ガ本當カドウカ知リマセヌガ、其ノ新聞ヲ見テ驚イタヤウナ次第デアリマスガ、一體ドノ位ノ芋ガ腐タノデアリマセウカ、此ノ際食糧不足ノ時ニサウ云フ代用食ト云フコトニ付テハ注意モシ、ソレヲ最モ有效ニヤルノガ今日ノ急務ダト思ヒマスノデ、腐ラカシタト云フコトニナリマストはハ大變ナコトダト思ヒマス、ソレカラ又ソウナタッタ以上ハ是ヘ地方長官ノ責任問題ヲ生ジヤシナイカト云フコトデ、斯ウ云フコトニ對シテハ農林省ヘドウ云フ御考デ、又ドウ云フ御處置ヲナサツタカ、之ヲ一ツ承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ先程増産ノコトト、消費規正ノコトニ付テ御盡力ニナツテ居ルト云フコトニ付テ御話ガアリマシタ、是ハ誠ニ當然ナコトト思ヒマスガ、扱テ消費規正ナリ

アル米ヲ無駄ニシナイヤウニト云フコトハ
ガ一番肝腎ダト思フノデアリマス、此ノ
變誤リガアツタ、今後之ヲ改正シナケレバナ
ラスト云ノコトヲ御氣付ノ點ガアリマンシタ
カドウカ、具體的ニ申シマスト、管理方法
ニ付テハ一旦公ノモノトシテ倉庫ニ入レタ
ナラバ、是ハ私人ノ保管ニ屬スル場合ニ於
キマシテモ、是ハ不融通物見タイナモノニ
ナルシ、觸ルベカラザル不可觸物ト申シマ
セウカ、手ヲ附ケラレナイコトニナル、サ
ウシテ普通ダッタナラバ好イ加減ノ時ニ
レバ燻蒸スルトカ何トカシテ蟲害ヲ防グコ
トガ出來ルガ、ソレモ出來ナクナル、私共
ハ本年ニナツテ蟲喰ヒノ米ヲ大分配給サレ
タノデアリマス、斯ウ云フ風ナ蟲喰ヒノ米
ヲ配給サレルト云フコトニナリマシタナラ
バ、ドウシテモ保管方法、管理方法ニ付テ
ハ特別ノ考慮ヲシナケレバナラスモノダ、
是ハ今ノ制度ノ上カラ來ルノデアリマス、
之ヲ救濟スル何カ御考ガアルカドウカ、一
體蟲喰ヒト云フモノハドノ位アツタモノト御
考ヘニナルカドウカ、ソレカラ供出方法ニ付
テモ私共昨年モヤカマシク申シマシタガ、
糲デナゼ御取リニナラナイカ、玄米デ悉ク
取ラレルヤウナ風ノ筆法デアツタ、後ニハ繕
和セラレマシタガ、玄米デ取ルト云フコト
何カ御考ガアルカ、從來ノ弊ハドウ云フ所
ヲ改メルカ、總テ供出若シクハ管理ノコト
ニ付キマシテ實際ニ合ハナイ所、若シクハ

損ノ招クト云フコトニ付テハドウサレルカ、御考ガアルナラバソレヲ承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ先程増産ヲスル爲ニ果樹園ヤ何カラ整理スルト云ノ御話ガアリマシタ、併シ之ニ付キマシテモ定メシ十分ノ御考慮ヲ拂ツテ居ルコト私ハ思ツテ居リマスケレドモ、地方ニ依ッテハ隨分無理ナ果樹園ノ整理ヲスル所ガアルヤウデアリマス、御承知ノ如ク今日ニ於テハ菓子モナイ、ソレカラ慰安ノモノガナイト云フ時ニ於キマシテ、果物ト云フモノハ唯一ノ皆ノ、何ト申シマスカ、食糧ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ果物ヲ段々整理シテシマフト云フコトニナルト如何ニ人生ガ味氣ナクナルカ、是モ人ノ感情ニ影響スル所ガ隨分夥シイコトト思フノデアリマス、麥ノ増産モ必要デアリマセウ、米ノ増産モ必要デアリマセウケレドモ、果樹ヲ矢鱈ニ制限スルト云フコトハ餘リニ増産ニ因ハレテ、其ノ點ヲ顧ミナイ弊ガアリハシナイカ、是ハ政治家トシテドウ云フモノカト云フ疑モアルノデアリマス、ソレニ付テノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ更ニ府縣「ブロック」ニ付テノ御考ヲ承リタイト思フノデアリマス、府縣「ブロック」ガナゼ出來タカト云フコトニ付キマシテハ、相當色々理由ガアッタラウト思ヒマス、處ガ府縣「ブロック」ヲ作ツタ結果トシテ、唯各府縣ト各府縣トノ間ノ色々ナ面倒臭イ規定ヲ作ツテ取引ヲ不圓滑ニスルバカリデナク、府縣内ニ於テモ一村一村毎ニ「ブロック」見タイナモノヲ作ッテ出サナイヤウニスル、舉國一體ト云フ風ナコトヲ言フニ拘ラズ、全ク日本ヲ切り刻ンデシマツテ、本當ニ獨立サセルヤウナ風ニナツテシマフ、甚ダ經濟上ニ於テハ憂慮スペキコトガアルダラウト思フノデアリマス、如何

ニモ是ハ非國家のヤウナ弊ニ流レテ居ル所ガ少クナイ、ソレカラ又各府縣ニ於テ、又地方ニ於テモ、自衛ダトカ報復ダトカ云フ言葉ガ公々然ト唱ヘラレテ居ツテ、サウ云フ言葉ヲ聽クサヘモ本當ニ不道德ダト思フヤウナコトガ澤山アリマス、非常ニ國民道徳ノ上カラ云ツテモ寒心ニ堪ヘナイコトデアリマス、ソレカラ第一府縣「ブロック」ガアル爲ニ品物ガ非常ニ偏在スルノデ融通ガ附カナクナル、益食糧ノ配給ト云フヤウナモノヲ困難ニスル情勢ガアルト云フコトハ、是ハ容易ナラザルコトダト思フ、同時ニ或所ニ於テハ有リ餘ツテ居ル、芋ナラバニナツテ、農林省ニ於テハ出セト云フコトヲ御命令ニナツテ居ルヤウニ承ッテ居リマスガ、サウスルト云フト、府縣知事ノ方ニ於テハソレヲ出サヌト云フコトニナルト、如何ニモ政府ノ政治力ガ薄弱デアル、政府ノ權力ガ甚ダ薄弱デアルト云フヤウナ疑ヲ致スノデアリマス、是モサウ云フコトヲヤルカラ、サウ云フヤウナ疑ヲ國民ニ懷カセルモノト思フノデス、ソレカラ又、農民ノ方ハ折角出シタイト思フケレドモ、出サセナイ、ダカラ腐ラカシテシマフ、ソレガ爲ニ財政上ニ斯ウ云フ罪惡ヲ犯ス、國民トシテハ政府ヲ信賴シナイコトニナル、府縣知事ヲ恨ムコトニナル、斯ウ云フヤウナコトハ、我々ハ唯此ノ儘ニ置イテ、黙過ガ出來ナイヤウナ氣ガスルノデアリマシテ、政府トシテハドウ云フ御考デアルカ、一應其ノ邊ノコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井野頑哉君) 只今赤池委員ノ御述ニナリマシタ第一點ノ、收穫ノ實情デアリマスガ、農林省ハ樂觀シ過ギテ居ヤセヌカト云フヤウナ御話デアリマス、此ノ收穫ノ狀態ニ付キマシテハ、八月ノ十五日ニ大體作況ヲ取ッテ居リマス、本年ハ、其ノ當時、七月ハ非常ニ雨が多く寡照……日照ガ少ウゴザイマシテ、心配シタノデアリマスガ、其ノ割合ニ農村ガ非常ニ努力シテ吳レマシタノデ、八月十五日現在デハ無論平年作ニハ行キマセヌデシタケレドモ、一割前後ノ狀態デアツタノデアリマス、其ノ儘ノ後九月ニ入りマシテ、天氣ガズット回復シマスレバ、無論或ハ平年作迄モ行ツタカト思フノデアリマスケレドモ、九月ニ入りマシテカラ又非常ニ今年ハ惡クナッテ、段々氣候ガ豫想モ平年作ヨリ一割以上惡クナッテ來タ、斯ウ云フヤウナ狀態ニナリマシタ、第二回收穫豫想モ先程チヨット申上ゲマシタヤウニ、其ノ後暴風等ノ大キナ被害ガゴザイマシタシ、又秋明ケノ氣候モ面白クナイト云フ所カラ、又減ヅテ來ルコトヲ豫想致シテ居リマス、是ハ無論樂觀ハ致シテ居ラナイノデゴザイマス、チヨット速記ヲ……

先程申シタ通り外米ガ入ラヌデモ、麥、甘
譜、馬鈴薯ニ依シテ是ダケ補フト云フ緊急食
糧對策ヲ樹立シタ譯デアリマス、甘諸ノ腐
敗ノ問題ニ付キマシテモ色々新聞等ニ書イ
テアリマシテ、初メハ雨ガ多カツタ爲ニサウ
云フコトガゴザイマシタガ、最近ハ殆ドゴ
ザイマセヌ、殊ニ甘諸、馬鈴薯ノ統制ヲ最
近致シマシテ、會社ガ直接ニ販賣ヲ致スヤ
ウニナリマシテカラ、値段ノ問題ハ色々議
論ガアリマセウガ、腐ルト云フ問題ダケハ
最近ハナクナッタモノト御了承ヲ願ヒタイ、
勿論「トラック」トカ輸送機關ガ非常ナ不備ノ
爲ニ奥地ニアリマス甘諸ガ出損ツテ傷ムト
云ファウナコトハ、是ハアルト思ヒマス、
併シ數量的ニソレハ大シタ數量デナイト御
承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ收穫
米ノ確保ノ問題ニ付キマシテハ、管理制度度
其ノ他ニ於テ改善スル點ガナイカト云フ御
話、是ハ無論今國家管理ト云フモノハ昨年
カラ急激ニ實行致シグノデアリマスカラ、
色々制度ノ上デ缺ケル所ハアラウト思ヒマ
ス、從ツテ惡イ所ハ直シテ居リマスガ、例ヘ
バ御示ノ蟲ガ非常ニ喰ヒハシナイカト云フ
御話、是ハ倉庫ガ十分デナイ爲ニ蟲ノ喰フ
場合モアルノデアリマス、供シ大體ハ今日
倉庫モ良クナリマシテ、「クロールピクリン」
ノ燻蒸ニ依リマシテ或程度是ハ防ギ得ルヤ
ウニナツテ居リマスノデ、サウ多クノ被害ハ
今日ハナイト思ヒマス、昔ハ倉庫ノ不完全
ナ爲ニ、「三百萬石ノ米ハ蟲害ヲ受ケタト
云ハレマスガ、今日ハサウ云フコトハナイ
ト思ヒマス、糲ノ管理ニ付キマシテ昨年モ
赤池委員カラ御質問ガゴザイマシタノデ、
政府モ能ク考ヘマシテ、サウ云フ習慣ノア
リマス所ハ相當考慮シテ管理致シタイト思

ヒマス、果樹園ノ整理ニ付キマシテハ御話ノ通り私モ總テ物ノ不自由ナ時ニ餘リ暗イ氣持ヲ國民ニ與ヘルコトハ面白クナイト思ヒマス、從テ果樹園ダカラト云ツテ皆ソレヲ整理シテシマハウト云フ氣持ハ無論持ツテ居リマセヌ、今回ノ計畫デモ果樹トカラ花卉トカ色々合セマシテ一千町歩ノ程度ヲ整理致シマス、主トシテ整理スルノハ桑園ニアリマス、桑園モ決シテ今日ハ纖維政策カラ餘ツテ居ル所ハ全然ナイノデアリマスケレドモ、食糧ノ方ガ大事デアリマスノデ、其ノ方ニ力ヲ入レマシテソレヲ十萬町歩近ク整理シテ、アトハ僅カナ整理デ、ソレハ地方ノ事情ニ依ツテ田圃ノ眞ン中ニ林檎ヲ植エタリ其ノ他ノ果樹ヲ植エテ居レバ抜イテ貰ヒタイト云フ氣持デヤツテ居リマスカラ、從來ノ果樹園等ニ付テ手ヲ付ケルコトハ是ハナイト御承知願ヒタイノデアリマス、最後ニ府縣「ブロック」ノ弊害デゴザイマスガ、今マデ斯ウ云ツタ弊害ハ相當ゴザイマシタケレドモ、最近主要食糧、生鮮食糧ニ付テ配給統制規則ヲ農林省デ制定致シマシタ、此ノ規則ニ依リマシテ府縣知事が自分ノ所デ勝手ニ許可主義ヲ取ルコトハ行カヌヤウニナリマシタカラ、今日ハ此ノ點ハ改善サレテ居ルト云フコトニ御承知願ヒタイノデヒタイト思ヒマス

シタ、政府委員デ御答辯が願ヘルダラウト思ヒマスガ、倉庫ノ貯藏供出米ガ大體腐敗スルト云フヤウナコト、或ハ蟲喰ヒト云フヤウナモノニナルト云フ御話デアリマスガ、私等ノ權威アル知人ノ者ガ矢張リ自己ノ倉庫ニ供出米トシテ今赤池委員ノ言ハレタヤウナ風雨ニ曝サレナガラ存在シテ居リマスガ、ソレヲ鼠ガ喰ヒ、蛇ガ喰ヒシテ居ルガ、供出シタノデアルカラ自分ニ責任ハナイケレドモ、國家ノ大局上默視スルコトガ出来ナイカラ、ソレデ何トカ方法ヲ講ジタイト云フノデ、其ノ意思ヲ表明シテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ買上げラレタノハ今年ノ初メデゴザイマスガ、夏ヲ過ギ、尙倉庫ニ在ツテ、米ノ不足ノ今日ニ於テ實ニ忍ビ難イ情ニ打タレツ、アル其ノ際ニ、他カラ穀物ガ輸送サレテ、ソレガ其ノ土地ニ配給サレル、ソレハ非常ナ遠隔ノ土地カラ來テ居ル、此ノ遠隔ノ土地カラ來ルト云フコトモ、輸送機關ノ不足ノ場合ニ二重ノ國家ノ損失デアリ、而モ其ノ土地ニハ多クノ倉庫ニ腐敗シナガラ封入サレテ居ル、斯ウ云フヤウナ現狀ヲ見テ、非常ニ食糧不足ノ際ニ心痛ニ堪ヘナイト云フ情ヲ披瀝シテ居ル、其ノ實例ガアルノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナコトガ起リマスト、此ノ配給機構ノ上ニ於キマシテハ、更ニ緊縮シタル圓滑ナル活動方法ヲ今一段御苦心ヲ願フ必要ガアルノヂヤナイカ、非常ニ心配ノ點ハ速記ヲ止メテ御話ニナツタノデ、御眞意ハ能ク分ルニ付ケマシテモ、此ノ一粒ノ米デモ大切デアルノニ、今ノヤウナ狀勢ニ放任サレテ居ル、アリマスガ、一體斯ウ云フ管理規則ト云フ

モノヲ作ツテ實行スル時代ニ於キマシテ
ハ、國民ニ臨戰體制ヲ強要スルガ如ク、關係當局モ臨戰體制ノ今一段ノ緊張シタ氣分ニ於テ、斯様ナコトハ全滅スル所ノ御氣分ニ進マレナケレバ、今日此ノ法案ノ如キモニヲ議シテ、段々是ガ强行サレマシテモ、其ノ根本ニ於テ拔ケル所ガアルト云フヤウナコトデ、非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、尙甘諸ノ問題デアリマスルガ、是モ遠イ田舎ノ方ニハ腐ツテ居ルカモ知ラヌケレドモ、近クニハナイト云フ御話モアリマシタガ、千葉縣ノ如キハ御承知ノ如ク甘諸ノ有名ナル產地デアリマス、東京カラ一時間餘リモ掛レバ行カレル所デアリマス、其ノ土地ノ甘諸ノ狀勢ハドンナ狀勢デアリマスカ、當局ハ私等ヨリモヨリ數字的ニ御承知ト思ヒマスルガ、堆ク各驛ニ積マレテ居ル七千俵、八千俵ト云フモノハ雨露ニ曝サレテ、二十日間モ放任サレテ居ル、下ノ方ハ腐ツテ居ル、私モ餘リノコトニ汽車ヲ降リマシテ、少サナ昔デアレバ居酒屋、駄菓子屋ノヤウナ所ニ集ル農民ト、私ノ名前ハ明カニ致シマセス、立場モ明カニ致シマセスガ、難談ヲ致シテ偶所々歩キマシタノデスガ、皆國民ハ悲痛ナ面持デ話スノデアリマス、是ハ全部ハ二十日間モ雨露ニ曝サレテ居ルカラ、煮夕時ニハ臭クテ喰ベラレナイ、此ノノ一ハ甘諸ヲ作レト云フ命令ヲ出サレテ居ルノデアリマス、忠實ナル農民ハ此ノ命ヲテ居リマスケレドモ、辛苦シテ國策ニ副ハ

ムトスル所ノ、忠實ナル農民ノ心理ト云フ
モノハ破ラレテ居ル、之ヲ有效ニ使フノ途
モ買フコトガ出来ナイ期間ト云フモノガ相
當多イニ拘ラズ、一時間足ラズノ所ニ斯ク
ノ如ク腐ダチ居ルト云フノガ是ハ實情デア
リマス、是ガ農民ニ與ヘタ心理ハ、當局ヲ
信ズルコトハ出來ナイ、打明ケテ御話ヲ致
シマスナラバ、農民ノ心理ハ如何ナル所ニ
追ヒヤラレテ居ルカト申シマスルト、斯カ
ル一點ニ於キマシテハ、來年ハ斯ウ云フコ
トヲ言ツテモ三分ノ一ハ作レナイ、作ツテ斯
ウ云フヤウナ不經濟ナ、又自己カラ言ツテモ
牧支償ハナイ、又國家的ニ忠誠ノ心ヲ破壊
サレルヤウナヤリ方デアッテハ、斯様ナコト
ハ手加減ヲシタ方ガ宜イノデヤナイカ、或
一人ノ如キハ實際ニ申譯ノナイトデアル
ケレドモ、三分ノ一ハ植エルダケ植エマセ
ウ、ケレドモ肥料ヲヤラナケレバ自然ニ枯
レテシマフ、枯レタラ仕方ガナイカラ、ソ
コヘ有效ナモノヲ植替ヘマセウト云フヤウ
ナコトサヘ一人ノ者ハロ走ル程、當局ノヤ
リ方ニ對シテ大局上不満デアリ、私經
濟ノ上カラモ非常ナ不満ナ情勢ヲ持ツテ居
ルノデアリマス、故ニ田舎ニ於テハ相
當アルダラウガ、近イ所ハ餘リナイト仰
シヤルコトハ、是ハ事實相違デアッテ、是
ハ全國ヲ統制スル芋ノ會社ニ委ネラレテ居
ルト云フコトデアリマスガ、其ノ會社
ヲ管理サレル所ノ責任ト云フモノハ是ハ考
ヘラレナケレバナラヌ、會社ガイカヌカラ
會社ノ責任ダト云フノデ轉嫁スペキモノデ
ナク、今日ハ總力的ニ國民ノ食糧ヲ如何ニ
スルカト云フ大乘的見地ニ立ツテハ、此ノ
配下ニアル所ノ如何ナル機關ト雖モ、敏速

正稱ニ通片フルヤウニ指令リ出スト云て所ノ大責任ガアル、之ヲ我々ハ又期待ヲ致シテ居ル、是等ノ點ヲ考ヘマスルト、食糧ノ不足ト云フコトノミナラズ、忠實ナル農民心理ヲ破壊シテ行クト云フヤウナコトノ上ニ、計數以上ノ損失ト云フモノガアルト云フコトヲバ、特ニ御記憶ニ入レラレテ、此ノバ政府委員カラ伺ヘバ結構デアリマス。○政府委員(湯河元感君) 只今ノ御話ノ通り食糧ノ非常ニ逼迫シテ居ル際ニ、此ノ管理其ノ他行政ノ扱ニ於テ色々手落チガアッテ、其ノ爲ニ農民トシテハ汗水垂ラシテ作タモノヲ、ムザク腐ラセルト云フヤウナコトニ追込ンデ居ル、斯ウ云フコトデハ増産ヲロヤカマシク言ツテモ、農民ノ氣持ガアッテ副ハナイ、斯ウ云フコトデハイカヌカラト云フ、斯ウ云フ御指摘ノ點デゴザイマス、デ先ヅ米ノ管理ノ方ノコトニ付キマシテ、モ苦心ヲシテ居ルノデ、殊ニ政府ト致シマシテハ大正十年以來、米穀法施行以來米ノ保管ニ付キマシテハ、實ハ色々我々トシテ應事情ヲ御説明致シテ置キタイト思ヒマス、先程モ大臣ガ申シマシタヤウニ、管理米ノ貯藏等ニ付キマシテハ、技術的ニモ、色々研究ガ出來テ居リマシテ、相當長イ間米ヲ貯藏致シマシテモ傷マナイヤウナ方法モ察ゼニ大事ナ問題デアルト思ヒマシテ、私達ト致シマシテハ、管理サレルモノハ是ハモウ出来ルダケ農業倉庫……是レ専門ノ貯藏保

農業倉庫業者ニ執ラセルト云フコトニ致シ
庫ニ之ヲ預ケル、サウシテ保管上ノ責任ヲ
テ居リマス、デゴザイマスカラ、若シ地方
ニ於キマシテ農業倉庫ノ不足ナ所ニ於キマ
シテハ、農業倉庫ハ然ルベキ借入ヲシテ、
倉庫ヲ借入レテモ宜イカラ、農業倉庫ノ責
任ニ於テ管理米ノ保管ニ當ルト云フコトヲ
ズウット指導シテ參ッテ居ルノデアリマス、
農業倉庫ニナリマスレバ、其ノ保管物ニ手
ヲ附ケルコトガ出來ナイト云フヤウナ問題
ハナイノデゴザイマシテ、民法上ノ責任ニ
於キマシテ當然寄託物ニ付テ管理上ノ注意
ヲシナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、
ソレデ廩叢等ハ、必要ニ應ジマシテ色々薬
品等ノ不足ガゴザイマシテモヤツテ行カナケ
レバナラヌ、保険等モキチント付ケナケレ
バナラヌト云フコトニナッテ居ルノデアリマ
ス、併シナガラ管理制度ノ當初デアリマシ
テ、ナカニ其ノ通りニ行キ兼ネル地方モ
残ツタカト思ヒマス、サウ云フ所ニ於キマシ
テハ地主等ノ完全ナル倉庫ヲ利用シテ、サ
ウシテ其ノ保管ニ當ラセルト云フコトヲ致
シマシタノデ、其ノ場合ニ於キマシテモ、
我々ノ氣持ト致シマシテ、各村ニ管理事務
取扱員ト云フモノヲ設置シテゴザイマス、
此ノ取扱員等ヲ督勵致シマシテ、假ニモ貯
藏上ノ缺陷ノ起ラナイヤウニ致シタイト云
フコトヲ念願ト致シマシテ措置ヲ講ジテ居ツタ
ノデゴザイマス、或ハ初メテノコトデゴザ
イマシテ、御指摘ノヤウナ行届カヌ點ガアツ
タカト思ヒマスガ、是ハ非常ニ宜クナイコ
トダト思ツテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテ
ハ、若シモサウ云フコトガゴザイマシタ時
ニハ、完全ニ補償シナケレバナラヌト云フ
風ニモ思ヒマスノデ、此ノ管理米ノ品傷ミ

ニ付キマシテ補助ト申シマスルカ、豫算ヲ
計上シテモ居ツタヤウナ次第ゴザイマス、
併シ是ヨリモ、何ト申シマシテモ昭和十七
米穀年度ニ於キマシテハ管理米ハ全部
政府ガ買上ゲルコトニシテ居リマス、
管理米ノ保管上ノ責任ヲ政府ガ執ルト云フ
覺悟ヲ致シテ居ルノデアリマス、出来ルダ
ケ早ク管理米トナリマシタモノハ政府ガ買
上ゲル、政府米ニシテ出來ルダケ完全ナ保
管ヲ致シタイト云フコトヲ考ヘテ居ル
次第デアリマス、ソレカラ尙先程御詫ノ中
ニ、產地ニ米ガアリナガラ、其ノ米ハ管理
米ニナッテ供出スル豫定ニナッテ居ル、然
ルニモ拘ラズ其ノ所デ食べル米ガ要り用ダ
ト云フ時ニ、其ノ米ニハ手ガ附ケラレ
ナイ爲ニ、遠イ先カラ米ヲ運シテ來ルト云
フヤウナ、非常ニ無駄ガアルラシイト云フ
點ヲ御指摘ゴザイマシタガ、是ハ我々ト
致シマシテハ實ニ全然意圖シテ居ナイ所デ
ゴザイマシテ、只今ノ管理制度ニ於キマシ
テハ、大體府縣府縣ヲ單位トシマシテ、其
ノ府縣ノ需給計畫ヲ立テテ居ルノデアリマ
シテ、或縣ニ於キマシテ米ガドレダケ取レ
ル、ソレデ其ノ縣ノ消費ヲ賄フコトガ出来
ルカ出來ナイカト云フコトヲ見マシテ、若
シ不足ガゴザイマスレバ他カラ入レル、併
シ不足ノナイ所ニ他ヨリ持込ムト云フヤウ
ナコトハ、是ハシナイ考ヲ持テ居ルノデ
ゴザイマス、或ハ初メテノ經驗ノ爲ニ只今
御指摘戴キマシタヤウナコトガ起ツタノカ
ト思ヒマスルガ、誠ニ輸送機關等ノ不自由
ナ際デアリマシテ、我々ト致シマシテハサ
ウ云フコトハ絶対ニ避ケタイト云フ考ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、尤モ一部ニハ、外
米ノ消費ガ都市ノミニ偏在シテ居ルノハ宜

○政府委員(岸良一君) 只今御尋ノ芋ノ出廻リノ状況及ビソレノ處理ノ状況ニ付テ御話シ申上ゲマスガ、統制會社デ、只今町村カラ出マス所ノ、其ノ町村内ニ於テ消費ヲスル以外ノ芋ニ付テハ、之ヲ全部取扱ヒマシテ、サウシテ用途別配給ヲヤッテ居リマスガ、出廻リノ初ニ當リマシテ、芋ガ滯荷ノアツタト云ツタヤウナ問題ガ方々デ喧傳サレテ居ツタノデアリマス、之ニ付テハ極力取調ベタノデアリマスガ、成ル程滯荷ノアツタ所モゴザイマス、サウ云フ所ハ只今ハ御承知ノヤウニ運輸關係ガ非常ニ惡クナツテ居ル、サウ云フノデ、從來「トラック」等ニ依テ敏速ニ處置サレテ居ツタ處ガ、其ノ處置ガ出来ナクテ、サウシテ停車場ニ皆集中シテ來ル、サウスルト其ノ驛ニ於テハ之ヲ消化スルダケノ力ガナ、斯ウ云ツタヤウナコトガ三重縣或ハ岐阜縣等ニアツタノデアリマス、是等ノ事實ハ千葉等ニモ多少アツタヤウデゴザイマス、サウ云フヤウナ滯荷ノモノモアリマシタガ、現在ニ於テハ全部ノ點ヲ鐵道ノ方ト交渉シテ、サウシテ手配ヲ附ケテ居リマスノデ、サウ云フコトハナシテアリマス、千葉縣下ニ於テ滯荷ハモウタヤウニ聽イテ居リマス、併シソレハモウ關係カラ腐ツタト云フ話ガゴザイマスガ、是ハ極ク初メノ内ニチヨットサウ云フ所ガアベタヤウニ聽イテ居リマス、併シソレハモウ極メテ一小部分デアリマシテ、大部分ノ芋ノハ只今申上ゲマシタヤウナ處置ヲ執リマスシテ片附ケテシマツテ居リマス、ソレカラ能ク滯荷デ非常ニ心配サレマスコトハ驛ニ山積ンデアルモノデアリマスカラ、如何ニモ非常ナ滯荷ガアルト云ツタヤウニ見受ケラレルノデアリマス、併シ非常ニ澤山消費

シマスル所ノ量ヲ適當ニ配給シテ行キマス
ルノニハ、相當ノ驛ニ蓄積ヲシテ置カナケ
レバ敏速ニ注文ニ應ジテ之ヲヤルト云フ譯
ニ行カナイモノデアリマスカラ、產地ニハ
或程度ノ蓄積ヲ常ニ持ッテ居ルト云フコト
ヲ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、サウ致シマ
スレバ各種ノ注文ガ參リマシタ場合ニ於キ
マシテモ、敏速ニ之ニ應ズルコトガ出來ルト
云フ譯デゴザイマスノデ、是ハ致シ方ナイン
譯デアルト思フノデゴザイマス、之ヲ要ス
ルニ當初非常ナ一小部分ニ、サウ云フコト
ガゴザイマシタケレドモ、其ノ後運搬方面
ノ取扱ヲ改善シテ參リマシタノデ、現在ニ
於テハ其ノ滯荷デ苦シonde居ルト云フヤウ
ナコトハナイヤウニ存ジテ居リマス

ウデナイト此ノ農民ノ忠實ナル國策ニ沿ウタ心理ト云フモノヲ破壊スルト云フノハ是ハ當然ナコトデアル、農民ハ忠實ニ國策ニ沿フ、上ノ者ハ慈ミノ政治ヲヤル、茲ニ於テ平仄相合ツテ綜合的國防國家ノ充實ガ出来ルト思フ、而シテ御指摘ニナツタ外ノ縣並ニ千葉縣アタリニ於テモ、損失ヲ蒙ツテ居ル者ニ對シテハ十分ナル補償ヲシテヤルト云フ制度ガ確立シテ居ルノダラウト思ヒマスノデスガ、若シ確立シテ居ラナケレバ是非之ヲ確立ヲシテ、其ノ忠誠心ニ應フル所ノ慈愛アル政治ヲヤツテ戴キタイ、斯ウ思ヒマスノデスガ、其ノ點ニ付テ御考ヲ……

○政府委員(岸良一君) 先程私ガ御答ヘシタコトガ、御質問ト喰違ツテ居ツタ點ハ申譯ナイ次第アリマスガ、御話ノ芋ガ滞荷シテ腐ツテ居ルト云フ狀態、若シサウ云フコトガアリマスレバソレハ非常ニ申譯ナイコトニアリマシテ、大體統制會社ニ於テハ出荷サレルコトニ付テ農會ノ統制デ出荷シ、ソレニ伴ツテ直チニ之ヲ引取ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、驛等ノ滞荷ニ付キマシテモ、農民トノ取引關係ニ於テハ、大體會社ノ手ニ移ツテ居ル譯デ、損失等ガアリマシテモ會社ガ負擔スルト云フコトニ相成ツテ居ル譯デアリマス、唯今ノ御話ノヤウナ點ガアリマストスレバ、ソレハ農會ノ出荷統制ニ從ツテ耕作者ガ出荷シテ來ル間ニ、何カト云フコトニナリマシテハ、ソレハ腐敗スルノハ當然ダト思ヒマス、サウ云フコトニデハ別ニゴザイマセヌ、唯實情ヲ能ク承リ

マシテ、會社等ニ於テ何カ措置ガ出來ルコトニ成ツテ居ラナイ譯ニアリマス、勿論今後ノ取扱ニ付テ左様ナコトガナイヤウニシナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、十分心ニ念ジテヤリタイト思ツテ居リマス
○男爵中川良長君　政府トシテハ之ヲ補償シテヤルト云フ御考ハナシ、其ノ途ハナイト云フ御話デアリマスガ、會社トシテ其ノ責任ガアルデヤナカト云フヤウナ點モ者ヘラレルノデアリマスガ、若シ會社ガ補償シナケレバナラヌモノデアルナラバ、矢張リ監督官廳トシテソレヲ指導サレ、イヤ、會社ノ責任ダカラ、ヤラナイノハ會社ガ惡イノダト言ツテ、農民心理ヲ害サレナガラ坐視シテ居ルト云フコトハ、此ノ綜合國家ニ對シテハ許サレナイコトダ、サウ云フコトガアルナラバ、監督官廳トシテハ會社ニ對シテ、サウ云フ施設ヲ積極的ニヤラス、現在ハサウ云フ方法ガナイト云フナラバ、サウ云フコトハヤラナケレバナラヌコトデアル、左様ニシテ農民ニ増産ヲ是カラヤラスト云ッテモ第一ヤリマスカ、此處ニハ關係ガナインガ、炭デモ其ノ通り、炭ニハ苦ガ生エテ居ルト云フコトデ、一切ノモノガ……サウ云フヤウナコトニ付テハ、農民ノ忠誠心ト云フモノハ要求スル、要求シナクテ農民ハ一令ノ下忠誠心ヲ遺憾ナク發揮シテ居ル、ソレニ對シテ應フルノ途ハ、政治ノ局ニアリ者ノ大ナル責任デアル、會社ガイカヌト云フナラバ、監督官廳トシテ農民ノ心理ヲ害セザル所ノ方法ヲ指令シテ戴クト云フ所ノ熱誠ヲ仰ギタノデアリマス、ドウゾ御

○委員長(伯爵黒木三次君)此ノ際皆様ニ御諮詢致シマスガ、河井君カラ委員外ノ發言ノ御要求ガゴザイマシタガ、御許シ致シマシテ差支ゴザイマスマイカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵黒木三次君)御異議ナイト認メマス、然ラバ河井サンノ御發言ヲ許可致シマス

○委員外議員(河井彌八君)成ルベク簡単ニ申上げマス、餘り批評的ノ議論ハ致サナイ積リデアリマス、實情ヲ主トシテ申上げテ御當局ノ御考ヲ促シタイト思ヒマス、此ノ臨時議會ニ於テ特ニ食糧増産ノ問題ガ提出セラレマシタ云フコトハ、非常ニ意義ノアルコトデアルト考ヘルノデアリマス、若シ食糧問題デ行詰リガ生ジマシタナラバ、戦争目的ノ遂行ト云フコトハ到底出来ナイモノデアルト考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ政府ニ於カレマシテハ米、麥、甘諸、馬鈴薯等ヲ主トシテ、食糧ノ増産計畫ヲ立てラレマシテ、サウシテ之ヲ著々實行シテ居ラレルノデアリマス、併シナガラ私ノ見ル所ノ以テシマスト、政府ノ施設ト云フモノハマダ／＼米麥ト云フモノニ主力ヲ注ガレマシテ、他ノ主要ナル食糧ハソレ程實ガ入ッテ居ラナイト云フ感ジガアルノヲ遺憾トスルノデアリマス、ソレハ今度ノ豫算ニモ明カデアリマスルガ如クニ、米ノ増産ト云フウナ計畫ノ如クニ效果ヲ期待スルコトガ出来ルカト云フコトニナリマスト、是ハ私ハ甚ダ懸念ニ堪ヘナイノデアリマス、本年ノ

ノ産額モ亦案外ニ少カッタ、是ヘドウ云フコト
デアルカト申シマスレバ、第一ニ氣候ガ悪
イ、斯ウ云フコトデアリマス、問題ハ氣候ガ
悪クテモ尙増産ノ出來ルモノヲ増産ヲスル
ト云フコトニ力ヲ盡シテ、眞ニ食糧ノ充足
ノ上ニ心配ノナイヤウニスルト云フコトガ
要點デナケレバナラヌト私ハ斯様ニ考ヘマ
ス、ソコデ――私ハ内地ノ米ノ產額モ豫定ノ
通リニヘ行カナイト思ヒマスカラ、サウナレ
バドウシテモ内地ニ於テドンナ場合デモ食
糧ハ心配ナイト云フコトニシナケレバナラ
ヌト思ヒマス、先刻ノ農林大臣ノ御説明ニ
依リマシテ一旦緩急アル場合ノ食糧ノ配給
ノ手配ガ出來テ居ルト云フコトハ伺ヒマン
タガ、ソレハ極ク差當リノ時ノ配給ノヤウ
ニ私ハ解シタノデアリマス、結局ハ何デモ
食べラレルモノガ内地ニ於テ十分ニ出來ル
ト云フコトガ實現セラレルニ非ザレバ、是
ハ今日ノ……

○委員長伯爵黒木三次君 河合サンニチ
ヨット申上ゲマスガ、少シク御話ノ内容ガ筆
記ヲ取ルニハ工合ガ惡イノデ、速記ヲ止メ
マスカラ、其ノ上デ十分御話ヲ願ヒマス、
速記中止

〔速記中止〕

○委員長伯爵黒木三次君 速記ヲ始メ
テ……

○委員外議員河合卿八君 今日ノ緊迫シ
タ情勢ノ下ニ于テ、如何ナル食糧ニ依ルナ
ラバ直チニ間ニ合フカ、斯ウ云フ問題ノ解
決ガ大切ニナツテ來ルノデアリマス、サウス
ルト米麥ト云フモノニ依ルコトノ大切ナコ
トハ固ヨリデアリマスガ、其ノ米麥ノ出來
ナイ前、或ハソレノ十分デナイノヲ直チニ

補フト云フ食糧モ大切ダト云フコトニナツ
テ來ル、從ツテ例ヘバ干拓ヲヤル或ハ開
墾ヲヤルト云フヤウナ事柄デハ、五年
十年先ノ食糧問題ニハ大イニ貢獻スルケレ
ドモ、即時ニ此ノ現在ノ焦眉ノ急ヲ救フト
云フコトニハ甚ダ不十分デアルト私ハ斯様
ニ考ヘテ居リマス、ソコデ何ガ此ノ場合ニ
役ニ立ツカト申シマスレバ、政府ノ政策ニ
アルガ如クニ、甘諸、馬鈴薯ノ増産デアル
ト思ヒマス、私ハ馬鈴薯ニ付テハマダ研究
ガ十分デアリマセヌカラ申上ダセヌガ、
甘諸ニ付テハ聊カ申上ゲルコトガ出來ルト
思ヒマス、ソコデ全國ノ甘諸ノ生産ノ地方
別生産額ト云フ表ヲ取テ見マスト、一反歩
當リノ收量ガ昭和十二年ニハ三百五十七貫、
昭和十三年ニハ三百五十八貫、昭和十四年
ニハ三百三十七貫、斯ウ云フ表方出テ居ル
ノデアリマス、私ハ此ノ表ヲ一應基礎ニ致
シマスガ、若シ此ノ甘諸ノ栽培ノ方法ヲ改
良スルナラバ、恐ラク一反歩ニ付テ千貫位
ノ收穫ヲ得ルト云フコトハ、ソンナニムヅ
カシイコトデハナカラウカト考ヘルノデア
リマス、ソコデ昨年ノ甘諸ノ内地ノ生産額
ハ——貫デアグタト記憶シマスルガ、今年ハ
恐ラク——ニ達スルト云フヤウナ報告ヲ得
テ居ルノデアリマス、若シ此ノ産額ガ千貫、
約三倍ニ増加スルコトガ一躍シテ出來ルナ
ラバ、一躍ト云フノハ少シ無理カト思ヒマ
スガ、急速ニソレガ行キ得ルナラバ、食糧
ヲ實行政シタノデアリマス、其ノ實行ノ結果
ハ反當リ八百貫乃至千百貫取レテ居リマス、
スカト申シマスト、昨年自分ノ村ニ於テ之
即時實行ヲ致シタ其ノ年ニサウ云フ收穫ヲ

整理ヲ致シマシテ、桑ヲ拔キマシタ其ノ跡ノ烟ニ甘諸ヲ、是ハ試驗的ニ試作致シタノデアリマス、八種類バカリ植エマシテ、サウシテ其ノ成績ヲ見タノデアリマス、從ツデ植エル時期等ニ付テモ多少變ヘマシテ、色々ナ試驗ヲ致シタノデアリマスルガ、其ノ結果ハドウカト申シマスルト、一反歩當リニ付キマシテ千二百二十五貫ノ收穫ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナノデ、固ヨリ技術等モ十分デアリマセヌケレドモ、ソレニ拘ラズ左様ナ成績ヲ舉ゲテ居ルコトヲ見マスルナラバ、斯様ナ方法ヲ普及シテ行キマスルナラバ、私ハ全國ニ於テ直グニ反當リ千貫ヲ舉ゲルト云フコトハドウカ存ジマセヌケレドモ、少クトモ現在ノ今讀ミマシタ統計ニ依ル平均數量ノ倍位ハ必ズ出来ルモノダト私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ點ニ付キマシテ政府御當局ハドウ云フ御施設ヲ爲サシテ居ルカト云フコトヲ實ハ承リタインオデアリマス

コトガ大事ナ一ツノ點デアリマスノデ、種芋等ニ付キマシテモサウ云ツタ品種ノ普及ニ努メテ居リマス、又栽培方法等ニ付キマシテモ非常ニ影響スル所ガ大キノデアリマスカラ、是ハ河井議員アタリカラモ力ヲ借リマシテ、私共モ其ノ方面ノ技術者ヲ指導ニモ出シ、又「ラジオヲ通シテ栽培方法等ニ一生懸命努力シテ居ルノデアリマスガ、尙價格ノ點ニ付キマシテ、今迄ドチラカト申スト多收穫ノ品種ガ虐待サレテ、旨味本位ノ、食用本位ノ品種ガ優遇サレテ居ツタノデアリマスガ、今後甘諸、馬鈴薯ノ統制ヲ致シマスニ際シテハ、成ルベク多收穫品種ヲ優遇スルト云フ方法ニ依リマシテ價格モ改訂致シテ居ル次第アリマス、是デ参リマスレバ相當御希望ニ達スル方向ニ進ミ得ルト考ヘテ居ル次第アリマス

レガ甘諸ノ増産ノ結果トナッテ、今年ノ產額ヲ上ゲルト云フコトニハ役立タナカツタノデアリマス、既ニ本院ニ於テ協賛セラレマシタ今度ノ豫算ニ於テ見マシテモ、五百五十何萬圓ト云モノガ、甘諸及馬鈴薯ノ增産ノ爲ニ、豫算ガ通過シテ居ルノデアリマスルガ、ソレヲ計畫スル時ニ既ニサウ云フ事柄ハ手配ガシテナケレバナラヌノデアリマシタノニ、サウ云フコトハナカツタ、而シテ其ノ座談會ノ印刷物ノ如キハ十月ニナツテヤット發行セラレタト云フヤウナコトデアリマスルノデ、當局ノ御考ガ如何ニ熱烈デアリマシテモ、實行ハ極メテ緩漫デアルト云フコトヲ遺憾ニ存ズルノデアリマス、ソレデ是ハ一例デアリマス、私ハ斯様ナコトヲ申上ゲマスルノハ心苦シイノデアリマスガ、併シ今之ヲ申スノハドウ云フコトカト申シマスルト、來年ノ甘諸ノ増産ニハ、時ヲ移サズ今日只今カラ眞剣ニ乘出シテ戴カナケレバ、矢張リ成績ヲ擧ガ得ナイト云フコトヲ私ハ恐レルカラ、此ノ一例ヲ申シタノデアリマス、マダ澤山アリマスケレドモソレハ止メマス、尙是ハ専門ノ御方ニハ失禮カモ知レマセスガ、甘諸ガ何故良イカト云フコトヲ簡単ニ申上ゲマスレバ、第一ニ產額ガ思フヤウニ殖エルコト、私共ノ仲間ノ篤農者ハ一反歩ニ付テ千五百貫ヲ舉ゲルト云フコトハ、ソンナニ無理ナ目標デハアリマセヌ、中ニハ二千貫舉ガテ居リマス、又一千貫以上ノ收穫ヲ舉ゲテ居ル者モアルノデアリマスガ、マア千五百貫位ハ平氣デ取ツテ居ル、斯ウ云フ增産性ガアルノデアリマス、ソコデ一株デ作ツテ見マスルト、我が持ツテ居ル記録デハ一株デ一千貫ヲ出

シタ詰銭ナア! マレハ財金ナア! ラク是迄ノ「レコード」ヲ持ッテ居ルノダト考ヘル、斯様ニ收穫ヲ舉ゲル力ヲ、重量カラ言ウテモ個數カラ言ウテモ著シイ特性ヲ付テ居ルモノニアリマス、ソレカラ產地ニ付キマシテハ、私ハ北海道ニ至ル迄是ハ出来ルト考ヘテ居リマス、現ニ東北地方、福島、宮城、岩手、或ハ山形ト云フ方面デ、段々此ノ增産ノ實ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、又山岳地方ニ於キマシテモ長野縣ナドハ餘り出來ナイト云フコトデアリマジタガ、決シテサウデハナイ、昨年私ノ所ニ來タ長野縣カラノ報告ニ依リマスト、一反歩ニ付テ千八百八十貫ト云フ報告ガアルノデアリカラ肥料ノ問題デアリマス、肥料ノ問題ハ是ハ非常ニムヅカシイノデアリマシテ、モノデアルト申シテ宜シイト思ヒマス、ソノ多産デアルガ故ニ即チ多量ノ肥料ヲ要スルノダト云フコトハ申サレナイ、寧ロ肥料ハ餘リ澤山デナシニ出來ルンダト言ウテ宜シ概ニハ申サレマヌケレドモ、ソンナニイノデアリマス、言ヒ換ヘレバ此ノ物資ノ多居ルノデアリマス、斯ウ云フ其ノ特性デ山ニ使ハズシテ、サウシテ效果ヲ擧ガ得ルモノハ甘譜ノ特性デアル、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ其ノ特性デアリマスルカラ、之ヲ利用シテ作ルト云フコトガ一番大切デアルト思ヒマス、ソレカラ更ニ貯藏ノ問題、甘譜ハ作ツテモ腐ルノダト云フコトガ常識デアリマス、併シナガラ此ノ常識ハ私ハ是ハ間違ツテ居ルト思フノ

スルコトガ容易デアル、或ハ五百貫、或ハ千貫、二千貫位一箇所ニ置キマシテ、ソレヲ貯藏スルコトガ容易デアリマス、先年宮城縣ニ於キマシテハ、矢張リ其ノ篤農者ノ一人ガ行ツテ指導致シマシタ時ニ、一萬貫ヲ野積ミニ致シマシテ適當ナル方法ヲ執リマシテ、一箇年間安全ニ之ヲ貯藏致シタト云フ例ガアリマス、而シテ其ノ方法ハ今日滿洲ニ於テ甘諸ヲ作ツテ居ル者ガ之ヲ實行シテ居ルノデアリマス、斯様ナ特性ヲ持ツテ居マスルカラ、私ハ政府ニ於カレマシテ、ドウカ米麥ニ置カレル所ノ重點ヲ、同様トバ行カズトモ、甘諸ニ於テ相當強ク置イテ戴キタイト云フコトヲ希望スルノデアリマスガ、此ノ點付テノ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

足スルト云フコトデアリマスルト、是ハ國民ノ生活ノ上ニ於テ一種ノ不安ヲ大キク眼
リ其ノ方面ニハ甘諸、馬鈴薯ヨリハ重ク考
ヘザルヲ得ナイ實情ニアルノデアリマスガ、
政策ノ重心ガ相當ニ移シ得ルト考ヘテ居リ
マス、現在ニ於キマシテハ農林省トシマシ
テモ此ノ邊ニ力ヲ盡シテ居リマスガ、併シ
尙足リナイ所ハ又更ニ考慮ハ致シテ参リタ
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵織田信恒君 議事ノ進行デ發言シタ
イノデアリマスガ、河井サンノ御質問ハ伺
テ居ルト非常ニ結構ナ、我々良イ参考ニナ
ル御質問ダト存ジテ居リマス、ケレドモ、
先キ赤池委員カラ御質問ガアツテ、農林大臣
臣ガ御答ニナシテ居リマシタガ、若シモ何ニ
シタラ委員ノ方ノ質問ノ残シテ居ルノヲ出
來ルダケ先ニヤツテ戴キタイ、河井サンハ又
後カラシテ戴クト云フヤウニシテ、前ノマス
ダ保留サレテ居ルヤウナ形ノ委員ノ方ノ質
問ヲ先ニ廻シテ戴イタラ如何デアリマスカ
○委員長(伯爵黒木三次君) 如何デスカ、
只今織田子爵カラ議事進行ニ付テノ御發言
ガゴザイマシタガ、赤池君ノ御質問ガ多少ニ
残シテ居ルヤウニ承知致シテ居リマス、先ツ
委員諸氏ノ此ノ際御質疑ヲ終リマシテ、ソ
レデ續イテ河井サンノ御話ヲ承ル、斯様ニ
致シタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマス
マイカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

致シマス

○赤池濃君 先程大臣カラシテ適正小作ニ付テノ御答辯ガ御有リニナリマシタガ、此ノ點ニ付テモウ少シ大臣ノ御所見ヲ承リタバ、從來カラモ隨分其ノ聲ガアッタノデアリマスルケレドモ、昨年ニ於テ特ニ官邊カラシテ、若シクハ政府筋方面カラシテ、大分強ク叫バレタヤウニ記憶シテ居リス、同時ニ各府縣ノ小作官ガ各地方ニ於テ、小作人ニ大變ナ同情ヲ持ツテ、サウシテソコラ中デ演説モスルシ、何カシテ居ルコドモ屢々聽いて居ルノデアリマス、小作人ノ方ニ同情スル餘り、動モスレバ地主ノ方ヲ非難スルヤウナ風ナ言動モ少クナカッタヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク今日ニ於テハ、地主モ小作モ一時ミタヤウナ風ナアノ騒ギヲ止シテ、サウシテ段々農村ガ平和ニナツテ、ソレデ此ノ時局ヲ乘リ切ラヌト云フ、斯ウ云フ際ニ於キマシテ、トモスルト小作官ニ依ツテ何カサレタリ、政府筋ノ方カラ適正小作料ノ問題ガ提議サレルヤウナコトニナツテ來テ、何カ問題ガ起リサウニナツテ居ルト云フコトハ、是ハ憂慮スペキデハナイカト思ヒマス、ソレデ私共適正小作料ノ問題ニ付キマシテハ異論八アリマセヌケレドモ、何ヲ適正スルカト云ブコトニ付テハ、餘程考ヘナケレバナラヌコトト思ヒマス、殊ニ今年ノ如キ二割當地方政府ニ影響ヲ與ヘルコトハ私ハ相當大キナモノダと思ヒマス、私共ハ昨年適正

小作料ガ官邊若シクハ政府筋ニ於テ、提議サテハ地主、小作ノ問題ヲ取扱フ時ニ於テハ本當ニ虚心坦懐ニヤツテ貴ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙今年ノ減收ノ問題ニ付キマシテ、何カ爭議ガ起ル場合ニ於キマシテ、減收ノ時困ルノハ、小作人バカリデハナク、地主モ困ル、共ニ困ル、片ツ方ヲ宜クシテ、片ツ方ヲ惡クシテマフト云フヨトニナルト、國家ノ、地方ノ産業ノ基礎ガドウナルカト云フ。コトヲ考ヘナケレバナラヌ、此ノ問題ヲ扱フ時分ニハ餘程御慎重ナ態度ヲ以テ扱ハナケレバイケナイト思ヒマス、此ノ點ニ付テ承ルコトガ出來マスレバ承リタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ先程小作農ニ比シテ大變自作農ガ宜イカラ自作農ヲ獎勵スドウモ私共チヨイ／＼聽イテ見ルト、必ズシモサウデナイ、今日借地法ガアル結果トシテ小作人ト云フモノガ安定シテ居ル、地主ノ方ハ高イ租稅ヲ拂ツテ居ル、サウシテ何カノ損害ガアルト云フト、ヤレ小作料ヲマケロト云フコトニナツテ來テ、却テ小作人ハ地主ニナルヨリ、自作農ヨリ小作農ニ甘シクナイト云フ、其ノ原因ニ付テモ餘程考ヘナケレバナラスト思フ、漫然唯自作農ガ宜イト云フコトデハ、私ハドウカト思ヒマス、殊ニ斯ウ云フ減收ノ際ニ於キマシテハ、オイデニナリマスカ、ソレカラ更ニ此ノ間

新聞デ見マスルト云フド、農林大臣ハ衆議院ニ於テ農業營團ト云フヤウナモノヲ御作リニナルト云フ方針ダト云フヤウナコトガチヨット見エテ居リマスガ、果シテサツ云フヤウナ風ノ考ガアルカドウカ、此ノ機會ニ於テ伺ツテ置カウト思ヒマス、是ハ農業行政上重大ナコトダト思フノデアリマス。

○國務大臣(井野碩哉君) 只今赤池委員ノ御尋ニナリマジタ適正小作料ノ問題ニ付キマシテハ、先程私モ御答ヘ申上ゲマジタ通り、今日政府ハマダ適正小作料トシテノ基準ガ定マッテ居リマセヌノデ、目下小作料ニ關スル指導方針トシテハ先般制定致シマシタ小作料等統制令ニ依リマシテ其ノ運用ヲ期シテ居ルノデアリマスルカラ、各府縣ニ於キマシテ、其ノ指導ガ行キ過ギルト云フコトノナイヤウニハ、無論農林省モ十分ニ其ノ監督ヲ致シテ居ルノデアリマス——唯小作官ハ從來小作人ト地主ノ間ニ立チマシテ、色々ノ事件ニ當リマスノデ、或ハ小作人ニ非常ナ同情ヲ持ツ小作官モアリ、偶々其ノ行為ニ行キ過ギガアルト云フコトハ、是ハ私モ注意ヲ致シマシテ、行キ過ギノナイヤウニシテ參リタイト考ヘテ居リマス、自作農ノ問題ニ付キマシテハ、御話ノ如ク小作人トシマシテハ或ハ自作農ヨリ小作ヲヤッテ居リタイト云フモノモ、是ハアルダラウト存ズルノデアリマス、私ガ小作ヨリ自作ノ方ガ生産上適切デアルト申上ゲマジタノハ、矢張リ自分ノ土地ニナリマスルト耕作ニモドウシテモ熱ガ入ル、借家ニ致シマシテモ、自分ノ家デアレバ、一生懸命

ヨリ生産ノ上ニ於テ、今迄實際調査シマシタ所ヲ見マスト、確ニ良クナッテ居ルト云フコトヲ先程申上ゲタノデアリマス、併シ小作人カラシテ見マスレバ、必ズジモ自作ニナラナイデ、小作ニナッテ居リタ一、地主ガ非常ニ温情ノ方デアリ、又其ノ條件等モ宣シケレバ、或ハ小作ニナッテ居タイト云フ人モアリマスコトハ、恰モ自分ノ家ニ持チマスヨリ借家シテ居ル方ガ良イト云フノガアリマスノト、私ハ同様ト考ヘテ居ルノデアリマス、從ツテ自作農創設ニ致シマシテモ、強制ハ決シテ致シテ居ラナイノデアリマス、地主ニ對シマシテモ強制的ニ土地ヲ賣レトカ、又小作人ニ對シマシテモ自作デナケレバ、イカヌト云フヤウナ指導ハ致シテ居リマセヌノデアリマシテ、地主ト小作人ノ話合ヒデ、値段モ折合ツテ、自作農ニナリ得ル色々ナ資金ガ得ラレナイナラバ、之ヲ融通シテヤルト云フ立前デ獎勵ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ御願ヒ申上ゲタイト存ジマス、第三ニ農業營團ト仰シヤイマシタガ、衆議院デ申シマシクノハ、食糧營團ノコトカト存ジマスガ、今日ノ戰時態勢下ニ於キマシテ、先般申上ゲマシタ空爆下ノ食糧ノ貯藏デアリマストカ、或ハ配給デアリマストカ云フコトノ必要カラ、茲ニ何等カノ中央機關ガ必要デアル、之ト現在アリマスル色々ノ機構トノ結合セヲ考ヘマシテ、食糧營團ト云フヤウナモノガ何等カ必要デヤナカラウカト云フ御質問ガアツタノデアリマス、ソレニ對シ

マシテ、私トシテモサウ云々タ問題ハ研究シ
テ居ルト云フコトヲ御答ヘ申上ゲタノデア
リマス

○赤池濃君 小作官ノ問題ニ付キマシテ御
答辯ガアリマシタ、只今大臣ノ御答辯ハ能
ク分リマシタ、私共ノ非常ニ心配シテ居ル
ノハ外デモアリマセヌガ、ズット昔ノ大正年
間ニ於テ工場法ガ制定サレマシテ、工務局
ガ制定サレタ時ニ、工場監督官ガ出来テ、
其ノ工場監督官ガ盛ニ労働者ニ同情シタ爲
ニ、労働争議ガ起ツタコトハ御承知ノ通リト
思フノデアリマス、昨年來翼賛會ガ特ニ此ノ
問題ヲ採り上げテヤツテ以來、非常ニ其ノ氣
分ガ起ツテ來タト云フコトハ大臣ハ御承知ト
思ヒマス、私共ハ一世ノ霊園氣ガズットサ
ウナツテ來ルト云フト、トモスルト度ガ過ギ
ルモノガアル、又サウ云フコトガ盛ニ論議
サレ、官邊ガ言ハレルト、若イ人ハ動モス
ルトサウナルノデ、此ノ點ハ大臣ハ餘程慎
重ニ御取扱ヒ下サルコトヲ希望スル次第デ
アリマス、ソレカラ今ノ農業營團ハ食糧營
團ダト云フ御話ガアリマシタガ、何時カ新
聞デ國土管理法案ヲ出スト云フコトガ見エ
テ居リマシタガ、私ハ國土管理法案ヲ御出
シニナルコトカト思ツテ御聞キシタノデア
リマス、國土管理法案ヲ云フモノニナリマ
スト、殊ニ翼賛會アタリガ盛ニ不在地主ヲ
攻撃シ、殊ニ土地ガ達ヒマスガ、満洲國ニ
於テハ不在地主ヲ罪惡視シテ、其ノ結果色
色ナコトガ出來タヤウナ情勢デアリマスノ
デ、サウ云フヤウナ趣意ガ多少加味サレマ
シテ、此ノ國土管理法案ガ出ルヤウナコト
ガアリマスカドウカ、若シサウデアルトス
ルト、只今大臣カラ御話ノアッタ如ク、土地
ノ愛著ト云フコトガ農業ノ基礎デアルト云

ブコトニナルト、其ノ土地ヲ國家ガ管理ス
ルト云フコトハドウカト云フ、強イ疑問ヲ
持ツテ居ルモノデアリマスカラシテ、其ノ御
意見ヲ承ツタ譯デアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 農地國家管理法
案ト云フノハ、衆議院ノ一部ノ人々ガサウ
云フ法案ヲ作リマシテ、議員提出デ議會ヘ
出シタイト云フ話ガ嘗テアツタノデアリマ
ス、其ノ後農林省ニ對シマシテモ、サウ云
フ法案ヲ是非作ツテ吳レト云フ御要望ガア
リマス、併シ現在農林省トシマシテハ、農
地問題ニ付テハ農地管理令ガアリ、現行ノ
施行法令ニ依リマシテ運用致シテ居ルノデ
アリマシテ、ソレヨリ更ニ進ンデ根本的ノ
農地制度問題ニ付キマシテハ、今研究ヲ致
ニ出ス意思ハ今持ツテ居リマセス

○赤池濃君 只今大臣ノ御話デ以テ、御趣
意ハ能ク分リマシタ、近頃動モスレバ革新
論……何カ現在ノ狀況ヲ改正シナケレバ、
革新政策デナイヤウナ議論ヲスル人ガ、兎
角多イノデアリマスカラ、殊ニ斯ウ云フ非
常時ニ於キマシテハ、慎重ナ態度ヲ以テ農
業行政ヲヤツテ戴キタイト云フ希望ヲ述べ
テ、質問ヲ打切りマス

○男爵中川良長君 段々伺ヒマスト、増産
計畫ニ付テ、耕作地ノ増加ニ付テハ、或ハ
闊地ト申シマスカ……ニ對シテハ政府トシ
テモ或ハ國民運動ニ依リ、或ハ政府ノ施設
ニ依リマシテ之ガ利用ヲ獎勵致シテ居リマ
ス、空閑地利用獎勵ノ爲ノ協會モ都市ニハ
出來テ居リマスシ、又小學校、中學校等ノ
學生ヲ勤員致シマシテ、サウ云々タ方面ノ開
拓ニ當ラレテ居リマスシ、又都會ノ家庭ニ
ハ誠ニ御苦心ヲ多ト致シマス、ダガ、此ノ
主食糧ト云フモノハ、内地ニ於テハドウシ
合ノ御準備ノ出來テ居ルト云フコトハ、是

テ居リマス、其ノ外ニ農地ト致シマシテ、
今御示ノ例ヘバ出征シタ後ノ農地、之等ニ
付キマシテハ共同耕作ニ依リマシテ、其ノ
農地ノ性能ヲ學ガルコトヲ獎メテ居リマス
ガ、併シ法制ノ上ニ於キマシテモ、農地管
理令ニ依リマシテ、サウ云々タ農地ニ對シマ
シテハ、或ハ部落團體ナリ町村ナリガ代ツテ
耕作シ得ルヤウナ制度モ開イテ居リマス、
ソレ等ノ面積ハチヨット記憶致シテ居リマ
セスガ、今日ノ時局ニ於キマシテ農地ガ休
ンデ居ルト云フコトハ一番イケナインノデア
リマスカラ、其ノ點ニ付テノ施設ハ色々ノ
豫備金等デ御支出ニナツテ居ルヤウニモ伺
テ居ルノデアリマスガ、之等ニ付テ現在ノ
豫備金支出ノ情勢、又性能ヲ發揮セザル面
積ト申シマスカ、ドノ位アツテ、現在如何ナ
ル方途ヲ御講ジニナツテオイデニナルカ、是
ハ増産ノ上ニ見逃スペカラザル所ノ大キナ
點デアラウト思ヒマス、只今耕作地面ガ幾
ラアル、故ニ幾ラ上ガルト一般的ニハ左様
ニモ考ヘラレマスケレドモ、實質ハサウデ
ナイ、此ノ點ニ付テ一應御話ヲ承リタイ
○國務大臣(井野碩哉君) 只今農地トシテ
十分ナ效果ヲ擧ゲテ居ラナイ所ヲドウ云フ
政策ヲ以テ能率ヲ擧ゲルヤウニシテ居ルカ
ト云フ御尋デゴザイマスガ、現在土地トシ
マシテ農地ニナツテ居ラナイモノデ、所謂空
閑地ト申シマスカ……ニ對シテハ政府トシ
テモ或ハ國民運動ニ依リ、或ハ政府ノ施設
ニ依リマシテ之ガ利用ヲ獎勵致シテ居リマ
ス、空閑地利用獎勵ノ爲ノ協會モ都市ニハ
出來テ居リマスシ、又小學校、中學校等ノ
學生ヲ勤員致シマシテ、サウ云々タ方面ノ開
拓ニ當ラレテ居リマスシ、又都會ノ家庭ニ
ハ誠ニ御苦心ヲ多ト致シマス、ダガ、此ノ
主食糧ト云フモノハ、内地ニ於テハドウシ
合ノ御準備ノ出來テ居ルト云フコトハ、是

ス、其ノ後農林省ニ對シマシテモ、サウ云
フ法案ヲ是非作ツテ吳レト云フ御要望ガア
リマス、併シ現在農林省トシマシテハ、農
地問題ニ付テハ農地管理令ガアリ、現行ノ
施行法令ニ依リマシテ運用致シテ居ルノデ
アリマシテ、ソレヨリ更ニ進ンデ根本的ノ
農地制度問題ニ付キマシテハ、今研究ヲ致
ニ出ス意思ハ今持ツテ居リマセス

○赤池濃君 只今大臣ノ御話デ以テ、御趣
意ハ能ク分リマシタ、近頃動モスレバ革新
論……何カ現在ノ狀況ヲ改正シナケレバ、
革新政策デナイヤウナ議論ヲスル人ガ、兎
角多イノデアリマスカラ、殊ニ斯ウ云フ非
常時ニ於キマシテハ、慎重ナ態度ヲ以テ農
業行政ヲヤツテ戴キタイト云フ希望ヲ述べ
テ、質問ヲ打切りマス

○男爵中川良長君 段々伺ヒマスト、増産
計畫ニ付テ、耕作地ノ增加ニ付テハ、或ハ
闊地ト申シマスカ……ニ對シテハ政府トシ
テモ或ハ國民運動ニ依リ、或ハ政府ノ施設
ニ依リマシテ之ガ利用ヲ獎勵致シテ居リマ
ス、空閑地利用獎勵ノ爲ノ協會モ都市ニハ
出來テ居リマスシ、又小學校、中學校等ノ
學生ヲ勤員致シマシテ、サウ云々タ方面ノ開
拓ニ當ラレテ居リマスシ、又都會ノ家庭ニ
ハ誠ニ御苦心ヲ多ト致シマス、ダガ、此ノ
主食糧ト云フモノハ、内地ニ於テハドウシ
合ノ御準備ノ出來テ居ルト云フコトハ、是

テ居リマス、其ノ外ニ農地ト致シマシテ、
今御示ノ例ヘバ出征シタ後ノ農地、之等ニ
付キマシテハ共同耕作ニ依リマシテ、其ノ
農地ノ性能ヲ學ガルコトヲ獎メテ居リマス
ガ、併シ法制ノ上ニ於キマシテモ、農地管
理令ニ依リマシテ、サウ云々タ農地ニ對シマ
シテハ、或ハ部落團體ナリ町村ナリガ代ツテ
耕作シ得ルヤウナ制度モ開イテ居リマス、
ソレ等ノ面積ハチヨット記憶致シテ居リマ
セスガ、今日ノ時局ニ於キマシテ農地ガ休
ンデ居ルト云フコトハ一番イケナインノデア
リマスカラ、其ノ點ニ付テノ施設ハ色々ノ
豫備金等デ御支出ニナツテ居ルヤウニモ伺
テ居ルノデアリマスガ、之等ニ付テ現在ノ
豫備金支出ノ情勢、又性能ヲ發揮セザル面
積ト申シマスカ、ドノ位アツテ、現在如何ナ
ル方途ヲ御講ジニナツテオイデニナルカ、是
ハ増産ノ上ニ見逃スペカラザル所ノ大キナ
點デアラウト思ヒマス、只今耕作地面ガ幾
ラアル、故ニ幾ラ上ガルト一般的ニハ左様
ニモ考ヘラレマスケレドモ、實質ハサウデ
ナイ、此ノ點ニ付テ一應御話ヲ承リタイ
○國務大臣(井野碩哉君) 只今農地トシテ
十分ナ效果ヲ擧ゲテ居ラナイ所ヲドウ云フ
政策ヲ以テ能率ヲ擧ゲルヤウニシテ居ルカ
ト云フ御尋デゴザイマスガ、現在土地トシ
マシテ農地ニナツテ居ラナイモノデ、所謂空
閑地ト申シマスカ……ニ對シテハ政府トシ
テモ或ハ國民運動ニ依リ、或ハ政府ノ施設
ニ依リマシテ之ガ利用ヲ獎勵致シテ居リマ
ス、空閑地利用獎勵ノ爲ノ協會モ都市ニハ
出來テ居リマスシ、又小學校、中學校等ノ
學生ヲ勤員致シマシテ、サウ云々タ方面ノ開
拓ニ當ラレテ居リマスシ、又都會ノ家庭ニ
ハ誠ニ御苦心ヲ多ト致シマス、ダガ、此ノ
主食糧ト云フモノハ、内地ニ於テハドウシ
合ノ御準備ノ出來テ居ルト云フコトハ、是

マダ肥料モ要ラヌ、肥料ヲヤレバ尙良ク出来ルノハ當然デアリマス、此ノ土地ガ無盡藏ニ放任フサレテ居ルノデアリマスガ、此ノ日満ヲ一體トシテノ増産計畫ト云フモガ當然立タナケレバナラヌ問題ヂヤナイカト云フコトガ考ヘラレル、聖戰既ニ四年ニナリマシテ、内地ノ增産計畫ニ大キナ御苦心ガアリ、此ノ戰爭狀態ハ何年續クカ分ラスト云フ風ニ國民ノ心理ニ打込マレテ居ル此ノ際デアリマスカラ、焦眉ノ計畫ヲ樹テルノハ固ヨリデアリマスガ、更ニ根本的ニ増産計畫トシテノ満洲肥沃ノ地ヲ開發ラシテ、而シテ満洲人ノ今日ノ食糧ノ缺乏ニ對シテモ共ニ考ヘテヤル、即チ東亞共榮圈ト云フコトガ謳ハレテ居リマスルカラ、共榮圈ノ實體ヲ擧ゲテ少クトモ日満ノ國民ハ日本ノ増産計畫ト伴ツテ食糧ノ共榮ノ實ヲ擧ゲル、是ハ共榮圈ト云フ言葉ノミナラズ、先ヅ近イ國家カラ共榮ノ實ヲ擧ゲテ行クト云フコトヲ著々ヤラナケレバナラヌノデハナイカ、ソレヲヤル場合ニ於テ支那民族ノ觀念ヲシテ振興セシメル、更ニ他國ニモ及ブ、既ニ満洲事變以來十年ニナル今日デアリマスガ、マダ日満ノ増産計畫「ブロック」ト云フモノガ實現シテ居ナイト云フコトハ、非常ニ遺憾ナコトデアルト思フノデアリマスガ、殊ニアチラニ於キマシテハ廣漠タル所デ日本内地ノヤウニ鍼デゴツ／＼ヤツテ居ルト云フノデナク、更ニ大規模ノ農產狀態ト云フモノモ想像サレルノデアリマス、現在ニ於テモ満拓アタリハ北海道ノ稍大キイデアリマスガ、ソレ以上ニ更ニ「アメリカ」アタリデ日本人ガ行シテヤッテ居ルヤウナ耕作

方法ト云フヤウナモノモ、アノ大キナ土地ニハ考ヘラレル、現ニ北支ニ於テハソレヲ實行シテ實ヲ舉ゲテ居ル、是ガ十年トカ二十年先ノコトダト云フノデナク、既ニ支那マダ溝洲ニハ左様ナ計畫ガ樹立サレテ居ラナイ、實行サレテ居ラナイ、僅ニ日本ノ國防移民ノ増産ト云フコトニ任サレテ居ル、是ハ申ス迄モナク國防移民デアリマスカラ増産ヲ主トスルノデナク、今日考ヘラルベキモノハア、云フ國防移民以外ニ増産ヲ目的トスル所ノ農民ヲ送り出ス、之ニハ勞働問題ト云フヤウナコトニモ絡ンデ來マセウケレドモ、勞務問題以外機械力ニ依ル勞務ノ節約ト云フコトモ考ヘマシタナラバ、左様ニ勞務一方ノ方ガ論ズル程憂慮スベキモノデハナイノデヤナイカ、是等ノ點ハコンナニ御苦心ニナシテモ内地ニ於テ非常ナ窮状ヲ見ナケレバナラナイト云フ此ノ現勢デアリマスレバ、溝洲ニハ増産計畫ヲ立テ肥シノ要ラナイ所ノ肥沃ノ地ニ實行スルト云フコトハモウ既ニ逞キニ失シテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、是等ニ付テノ大臣ノ御所見御抱負ヲ伺ヘレバ結構デアリマス○國務大臣(井野頼哉君)只今ノ御意見ハ私共モ極メテ傾聽致サナケレバナラヌ點ガ多々アルト思フノデアリマスガ、御説ノ初ニ御述ニナリマシタ内地ノ農業ガ政府モ農民モ一生懸命ニ斯クノ如クヤツテ居リナガラ、其ノ效果ガ舉ガラナイカラ是以上增産ハ期シテモ無理デヤナイカト云フ御説ニシテ農民ガ一生懸命努力シテ吳レテ居リマス、ト申シマスノハ現在ノ耕地ニ對シマス

スル結果ヲ見マスルト、本年ノ如キハ第一回收穫豫想ガ五千九百十三萬石ト出マシタガ、植付ケノ状態ヲ見テ見マスルト昨年ヨリモ五、六萬町歩モ多ク植付ケガ出来タノデアリマス、勞力モ不足シ、資材モ足ラナイ今日、植付ケカラ見マスルト昨年ヨリ殖エテ居ル、六月頃ノ天氣デズット續キマスレバ今年ハ恐ラク七千萬石ヲ突破スルノデヤナイト云フ實ハ喜フ持ツテ居ッタノデアリマス、然ルニ天候ガ非常ニ惡イ爲ニ、其ノ結果ヲ得マセヌデ平年作以下ニタノデアリマスケレドモ、内地自體ニ於キマシテモ天氣ガ普通デアリマスレバ七千萬石前後ノ米ヲ取りマスコトハサウ困難デハナイノデアリマス、況ヤ耕地ヲ更ニ改良ナリ擴張致シマシテ其ノ面積ヲ殖ヤシマスレバ、外地ト内地ヲ併セマスレバ大體自給自足ガ出來ル状態ニ立チ得ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ食糧政策ノ上カラ申シマシテモ、日本自體デ食糧ヲ自給自足スルト云フコトガ、先づ一番大事ト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ上ニ更ニ満洲ナリ支那ニ對シマシテ食糧増産ヲ圖ソテ行ク、シテモ、満洲支那ニハ肥料ノ要ラナ今御話ノヤウニ満洲支那ニハ肥料ノ要ラナイ土地モ相當ニゴザイマス、併シ此ノ方面ト併セテ内地ノ食糧依存ト云フコトニナリマスト、現下ノ情勢ニ於キマシテハ私ハ尙幾多ノ其處ニ不安ヲ生ゼシタル原因ガアルト思フノデアリマス、例ヘバ船舶ノ問題ニ致シマシテモ、汽車輸送ノ問題ニ致シマシテアルノデアリマス、從ツテ今日ニ於キマシテモ、色々ノ事情カラ數量ハ總括的ニ得マシテモ實際ノモノガ入ツテ來ナイト云フ場合ガハスウ云フ國際情勢ノ下ニ於キマシテハ矢張リ當面ノ問題トシテ内地ヲ基本トシテノ食糧

計畫ヲ先づ第一段トシテ立テル、滿洲支那ヘ
増産ハ出來ルダケ矢張リシテ貰ヒタイト云
方方針ヲ私ハ採ツテ居ルノアリマス、ソレハ
今日マダ滿洲モ支那モ自給自足ニナツテ居
ラナイノデアリマス、滿洲ノ如キモ内地カラ
相當ニ米ヲ出シマシテ向フヲ養ツテ居ルヤ
ウナ狀態デアリマスカラ、向フデ食ベル米
ダケデモ是非増産シテ貰ヒタイト云フ氣持
ヲ持ツテ、決シテ今日ハサウ云ッタ方面ノ增
産計畫ヲ抑ヘテ居リマセヌ、唯十分ニ其ノ
方面ノ生産計畫ガ立チマセヌノハ資金ト勞
力ト資材、此ノ三ツカラシテ今日非常ナ窮
屈ガアルノデアリマスルカラ、滿洲國自體
デ相當ニ増産計畫ヲ立テタイノデアリマス
スケレドモ、立チ得ナイ實情ニアルノデア
リマス、從ツテ支那ノ如キモ治安ノ關係カラ
部分的ニハ今御話ノヤウナ大農場式ノモノ
モアリマスケレドモ、計畫的ニ或程度ノ數
量ヲ舉ゲルト云フ生産計畫ガマダ立チ得ナ
イ實情ニアルノデアリマス、從ツテ日滿支ヲ
通ジテノ食糧政策ヲ適地適作主義行クノ
ガ宜イデヤナイカト云フ御議論ハ、度々私
共モ伺ヒモシ、研究モシテ居ルノデアリマス
ガ、今直チニ此ノ計畫ガ具體的ニ立チ得ナ
イ實情ニアルノデアリマス、從ツテ現在ニ於
キマシテハ先づ内地ヲ主トシテ内外地ヲ通
ズル一應食糧需給計畫ヲ立テ、更ニ滿洲支
那ト云フモノハ出來ルダケ其ノ方面ニ於ケ
産シテ貰ヒタイノデアリマス、是ガ現在生
産力擴充計畫ヲ致シマス以前ヨリハ寧ロ滿
洲トシテモ殖エテ居ラナイ實情ニアルノデ
アリマスカラ、斯ウ云ッタ方面デモット生産力

ヲ擴充シテ貰ヒマスト、朝鮮ニモ内地デモ是
ハ相當ニ入ッテ來マスレバ、他ノ食糧ヲ補ヒ
得ルノデアリマスルカラ、サウ云ツタモノヲ
寧ロ滿洲ニ望ム方ガ適當デハナイカ、斯ウ
云フ風ニ今考ヘテ居ル次第アリマス
○男爵中川良長君　只今ノ御話デ、輸送其
ノ他ノコトデ滿洲ニ樹立ヲシテ困難デア
ルト云フ御心配モ、是ハ國際的ニ只今言ヒ
表シニクイ點ヲ御睨ミノコトモアラウト思
フノデアリマスガ、イキナリ船デ内地ヘ輸
送スルトカ、鐵道デ朝鮮ヲ經由シテ來ルト
云フコトニ於テモ相當ノ御苦心モアラウト思
ウガ、増産シタルモノハ、私ハ今ノ雜穀ヲ
朝鮮ニ御入レニナッテソレダケ米ヲ内地ニ
持ツテ來ルト言ハレルヤウニ、必要ナルモノ
ヲ朝鮮ニ持ツテ來テ朝鮮ノ米ヲ内地ニ持ツテ
來ルト、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデア
リマス、サウスレバ、今現在朝鮮ニ雜穀ヲ滿
洲カラ入レテ、ソレデ朝鮮ノ米ヲ内地ヘ持ツ
テ來ルト仰シヤル、其ノ計畫が出來ル以上
ハ、矢張リ是モ出來ル譯デアリマス、故ニ
イキナリ滿洲カラ日本ニ出來上ツタモノヲ
持ツテ來ルト云フコトハ輸送上ノ問題モア
リマセウガ、左様ニ滿洲ニ出來タモノヲ朝
鮮ニ御入レニナリ、朝鮮ノ產米ヲ内地ニ持ツ
テ來ル、斯様ニスレバ、今日雜穀ヲ朝鮮ニ
持ツテ來テ、米ヲ朝鮮カラ内地ニ御持チニナ
ルト云フコトハ、輸送上ニ於テハ何デモノ
イノデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノ
デアリマス、ソレデ現在八十萬石ヲ昨年度
ニ於テハ滿洲ニ御出シニナッタヤウニ記憶
シテ居リマスガ、斯ウ云フ窮屈ナ間ニソレ
程御リ、シニナッタト云フ情勢ヲ見ルニ付ケ
マシテモ、アチラニ適當シタル適地ト云フ
モノハ、満拓ノ調ノ上カラ見マシテモ、水

田ノ適地ト云フモノモ相當ノ計數ガ舉ゲラレテ居ル、サウ云フ所ハ何モゼニ今放任サレテ居ルヤウデアリマス、或ハ二千陌ト申シマスカ、サウ云フモノガ計數ニ載ツテ居リ、其ノ他ニモ耕セバ出來ルモノガアル、サウシテ朝鮮人ガ向フニ入りマシテモ、耕作スルニ五年モ六年モ掛ツテ居ルノデナク、御承知ノヤウニ、入ッテモウ翌年ニハ收穫ヲ得テ居ル、裸一貫デ入ッテ營々トシテ朝鮮ノ熱心ナル人ガ收穫ヲ得テ居ルト云フノヲ私ハ實地ニ歩イテ見テ來テ居ルノデアリマス、故ニ大方針サヘ立チマスレバ、輸送ノ上ノ御心配モナイト思ヒマス、増産ノ上テ於テモ相當ノ途ガ立ツノデヤナイカ、併シ日本内地ヲ第一ノ計畫トシテオイデニナルト云フ御方針デアル以上ハ、是ハ別個ノ問題ザイマス、更ニ國際的ニアノ地ガ增産ヲシテモ輸送上ニ何カ危惧ノ點ガアルト云フヤウナコトカラシマスレバ、是ハ別個ノ問題ト思ヒマスガ、然ラザル限リニ於テハ、アノ大キナ犠牲ヲ拂ツテ兩國々民ノ爲ニ確保シタアノ土地、現在ノ獨「ソ」ガ「ウクライナ」ノ占領ニ集中シテ居ルヤウチ風ニ相當ノ苦心ヲシテ居ルノヲ、日本ハ十年前ニ兩國民ノ爲ニ、東亞國民ノ幸福ノ爲ニ確保シテ居ルト云フコトカラシマスレバ、アレノ利用厚生ノ途ヲ講ゼズシテ放任シテ置クト云フコトハ、餘リニ無計畫過ギハシナイカ、是ハ實際問題トシテハ日本ダケデハ行ケナイコトト思ヒマス、或ハ満拓ノ管轄範圍デ、ナカナカ日本ノ當局ノ言フヤウナ譯ニ行カヌ所モアリマセウガ、是ハ關係當局、或ハ農林、或ハ勞務ノ問題デハ厚生、或ハ満拓、其ノ他ノ機關ガ大乘的ニ一ツノ計畫ヲ打合サレテ、増產ノ方法ヲ實行サレル途ニ進マ

○國務大臣（井野碩哉君） 簡單ニ御答へ申上
ゲマスガ、私共モ普通ノ時デアリマスレバ、今御話ノヤウナ氣持テ一貫シタ計畫ヲ立テ、其ノ方針ニ向ツテ進ミタイト思ツテ居ルノデアリマス、併シ今日ハ物資ナリ勞力ナリ、資金ナリガ、滿洲、支那ニ付キマシテモ非常ニ窮屈ナンデアリマス、計畫ハ立チマス、耕地ガゴザイマスノデスカラ計畫ハ立チマスガ、例ヘバ大規模ノ開拓ヲ致シタイト考ヘマシテモ、其ノ資材ガナカノ手ニ入ラナイ、又水利ヲ相當ニ引カナケレバナラナイガ、其ノ爲ノ施設ヲ相當ニ要スル、而モ、内地ノ資材ヲアツチヘ持ツテ行ッタラ宜イデヤナイカト云フ御氣持モアルカモ知レマセヌガ、之ヲ運搬シマスノニ、船舶ナリ汽車ノ輸送關係ガ今日デハ逆モ實行出來ナイト云フ、色々ニ點ニ於テ、計畫ハ立チマスガ、實行難ガ相當ニアルノデアリマス、今日我々トシマシテモ、十萬町歩デモ宜イカラ滿洲デ開拓シテ貰ヒタイト申シマシテモ、ソレガ色々ナ方面カラナカヽ困難ナ實情ニアルノデアリマスカラ、ソコデ今御話ノヤウナ一貫シタ所ノ計畫ニ基イテ食糧給計画ヲ立テルト云フコトハ、現在ニ於テハ困難デアリマス、併シ事態ガ相當ニ變化ハ御話ノヤウナ氣持デ私ハ行カナケレバナシテ參リマシテ、サウ云ツタヤウナ物資ノ輸入ナリ勞力ノ確保ガ容易ニナリマスレバ、今御話ノヤウナ氣持デ私ハ行カナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 鐵材、セメント、其ノ他ノ資材デアリマス
○男爵中川良長君 機材モ、「トラクター」ナドモ倉ムト云フ……
○國務大臣(井野碩哉君) 左様デゴザイマス
○男爵中川良長君 一應伺ヒマシテ、今資產凍結ノ此ノ際デアリマスルカラ、左様ナ問題モ考ヘラレマスルガ、今「ハワイ」アタリノ農民ニ於キマシテ、丁度資產凍結ノ前デアリマスルガ、アノ「トラクター」ノ如キモノヲ滿洲ニ持ツテ行キタイ、而シテ自分等ガアノ廣漠タル土地ヲ、一千六百年ノ奉祝ノ際ニ、アチラニ參ツテ一同視察ヲシマシテ、誠ニ勿體ナイ、故ニ其ノ「トラクター」ヲ持ツテ行ッテ、サウシテ彼處ヲ自分等ニ活用サセテ貴ヒタイ、斯ウ云フ熟意ガアリマシテ、是ハ拓務當局ニモ其ノ意思ハ傳ヘテアル譯デアリマスシ、尙又計數上ニ、如何ナル風ニ耕作スレバ如何ナル收穫ガ出ルカ、ソレカラ只今ノ水利ノ話、是ナドモドンドン井戸ヲ非常ニ大キイモノヲ掘ツテ實驗シテ居ル者ガソレヲヤルノデ、其ノ計數モ皆ソレニ現レテ居ル、故ニ「トラクター」ヲ滿洲ニ持ツテ行ッテ自ラ之ヲヤラウト、斯ウ云フヤウナコトヲ丁度凍結前ニ計畫ヲシテ當局ニモ申出シテアルヤウナ譯デアリマシタガ、今ノ資產凍結ト云フ問題が何時解決出来マスカ、或ハ意外ニ早ク解決スルヤウナ豫想モ出來ナイコトモナイト思ヒマスノデ、サウ云フヤウナ際ニハ、一ツ特ニ此ノ今ノ問題モ御考慮ニ御入レニナリマシテ、ソレニハ平素拓務農林或ハ満拓或ハ厚生、サウ云フ方面トノ聯絡會議ト云フヤウナモノヲ日滿「ブロック」ノ上ノ施設ヲシテ戴イテ、

○宮田光雄君 大分時間モ移リマシタシ、
他ノ委員會モ大體終了シタヤウデアリマス
カラ、此處モ質問ヲ打切ッテ戴キタイト思
ヤツテ戴イテ、サウシテ討論ニ移リタイト思
ヒマスガ、ドウカ諸ツテ戴キタイト思ヒマス
○委員長(伯爵黒木三次君) 承知致シマシ
タ、皆サンニ御誦リ致シマスガ、只今宮田
委員カラ御聽キノ通リノ様子デアリマシテ
河井サンノ御質問ノ途中ニ於キマシテ御止
メヲ願ツタノデ、委員ノ質疑ハ是デ打切ヲ致
シタイト思ヒマス御異議ゴザイマスマイカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵黒木三次君) 御異議ナイト
認ヌマス、然ラバ河井サンドウゾ

○委員外議員(河井彌八君) 先刻甘諸、馬
鈴薯ノ増産費用ガ五百五十萬圓ニ上ルト云フ
コトヲ申上げマシタガ、是ハ獎勵費ガ少ナ
過ギル、必ズシモサウ云フ意味デハナイノ
デアリマス、其ノ他ニ實ハモット十分ナ施設
ヲシテ貰ヒタノデアリマスガ、其ノ點ニ
於テ非常ニ指導者トシテノ地位ニ立ツ方々
ガ指導力ガナイト云フコトヲ痛感シタカラ
アノコトヲ述べタノデアリマス、ソレカラ
丁度臺灣ノ總務長官ガ居ラレマスカラ一言
伺ヒタイノデアリマスガ、臺灣ノ古諸ノ生
產額ハ昭和十三年ニ於テ一反歩當三百三十
二貫ト云フ統計ガ出テ居リマスノデ、是ハ
モット十分ニ増加サセル必要ガアリ、又内地
ヨリモモット可能性ガアルト思フノデアリ

○政府委員(齋藤樹君) 只今ノ御尋ニ御答
ヲ申上ゲマス、臺灣ニ於キマシテノ甘藷ノ
収量ハ只今御擧ゲニナリマシタ通ノ實績
ヲ從來ハ示シテ居リマス、昭和十五年度以
降五箇年計畫ヲ以チマシテ五割増産ノ目標
ニ向シテ邁進ヲ致シテ居リマス、今年アタリ
約三、四割ノ增收ヲ示シテ居ルヤウナ反當收
穫量モ現レテ居リマス、大體ニ於キマシテ
總督府ノ方針ト致シマシテハ品種ノ改良ヲ
第一ノ方法トシテ從來ハ努力ヲシテ參ッテ
居リマス、唯食糧ノ點カラバカリデナク「ビ
タノール」原料其ノ他ノ關係ニ於キマシテ、
甘藷ノ收穫ヲ急激ニ増加シ、之ヲ確保シテ
参リマスコトガ極ムテ必要アリマスノデ、
此ノ點ニ付キマシテハ別ニ品種改良ノ方法
ト相並ビマシテ、耕種法ト申シマスカ、植
付ノ改良ノ方面ニモ入ッテ行ク方針ヲ以テ、
只今折角考慮中デアリマス、是ハ或程度河
井サンノ御承知ノコトデアリマスルガ、本年初
夏ノ頃河井サンノ御同志ノ杉本良君ガ「バン
フレット」ヲ持シテ渡臺致サレマシタ折ニ、杉本
良君ノ御話ハ私モ直接伺ヒマシテ、殖產局
ノ甘藷關係ノ者モ伺ヒマシテ、尙特ニ私ハ
殖產會社ノ其ノ方面ノ技術者ニ御會ヒ願ヒ
マシテ、直接ニモソチラニ御話ヲシテ戴イ
タノデ、ソレデ此ノ方面ニ付キマシテモ、
今後河井サンアタリノ一ツ御援ケヲ戴キマ
シテ、耕種法ノ改善ヲ急速ニ進メマシテ、
増産ノ目的ヲ達シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
ヤウナ次第デゴザイマス

マスガ、是ハ止ヌマス、次ニ價格ニ付テ簡
單ニ伺ヒマス、農林省ノ告示六百七十三號
ヲ以テ芋ノ買上價格及消費業者ニ賣ル迄ノ
價格ノ決定ガアル、而シテソレニ依リマス
ルト、十月カラ十二月ノ價格ヲ、本州ノ東海
方面ノ中部地方ニ依シテ見マスルノニ、一等ハ二
十四錢、一貫匁二十四錢、二等ハ二十一錢、
三等ハ十四錢、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデア
リマス、此ノ價格ノ決メ方ハソレゝ、十分ナ
御調査ヲ以テ御決メニナツタト思フノデア
リマスガ、是ハ實ハ昨年ノ農家ノ手放シタ
賣却價格カラ較ベマスト、遙ニ低イノデア
リマス、是ガ實ハ將來餘程増産ノ妨ゲニナ
ルノデハナイカト云フコトヲ憂フルノデア
リマス、昨年私ノ郷里ノ村ニ割當テ來マ
シタ「アルコール」原料ノ芋ガ、一反歩ニ付
テ八十貫割當テ參リマシタ、而シテ其ノ
買上げ價格ハ、生ノ芋ガ一貫匁ニ付テ十五
錢二厘トナツテ居ルノデアリマス、所ガ茲ニ
アリマスル等外芋ガ十四錢ト云フコトニナツ
テ居リマスルノハ、如何ニモ均衡ガ取レナ
イヤウニ思フノデアリマス、昨年ノ其ノ割
當ガアリマシタ時ニヘ、芋ヲ生產シタ者ノミ
ガ損害ヲ負擔スルト云フコトヲ虞マシテ、
芋ヲ生產セザル者ガ生產シタ同ジヤウニ
外カラ芋ヲ買ツテ、サウシテ之ヲ供出シテ居
ル例ガアルノデアリマス、而シテ其ノ價格
ヨリモ尙低イト云フコトハ、是ハ隨分酷イ
コトデアルト私ハ考ヘマス、何デ斯ウ云フ
風ニ決メタカト云フコトヲ考ヘテ見マスル
ノニ、是ハ色々アリマセウガ、恐ラクハ薩
摩芋ハ腐ルモノナリト云フコトカラ、腐敗
スル其ノ損害ヲ豫メ見込ンデ、之ニ加ヘテ
價格ヲ低クシタノデハナイカト云フヤウナ
ルト、少シ是ハ皮肉デ
心持ガスルノデアリマス、少シ是ハ皮肉デ

アリマス、アリマスガ今年ノ馬鈴薯ノ値段ニ付テハ、實ハ生産者ガ約束ヲサレテ出シタ時ノ約束ノ價格ヨリモ遙カニ下ガッタ少額ノ代金ヲ與ヘラレタ事實ガアルノデアリマス、サウ云フ事實カラ見マスルト、恐ラクサウ云フコトデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ本年ハ致シ方ナイカモ知レマセヌガ、ドウゾ將來ノ増產ノ爲ニ當局ハ十分ノ考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、馬鈴薯三付キマシテハ非常ナ不當ナ事實ガアリマスルガ、是ハ問題外ニナリマスルカラ此ノ點ハ申シマセヌ

デアリマスルガ、併シ其ノ實際ニ於テ、ドレガ一等デアリ、二等デアリ、等外品デアルカト云フコトヲ決メルノハ、其ノ決メル人ノ手心ニ依ルガ如クニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ハ非常ニ重要ナ結果ヲ生ズルノ品トシテ取扱フベキ、鍼デ切ッタヤウナ疵ノアル芋ガ相當入ツテ居ルノデアリマス、是ハ結局ハ等外品ヲ高ク賣ルト云フコトガ、實際ニ行ハレテ居ルモノデアルト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ風ナコトデアリマスルト、價格ヲ斯ウ云フ風ニ割合安ク決メテ置イテ、而シテ其ノ後ハ商人ナドノ不徳義ガ勝手次第ニ行ハレルト云フヤウナ事實デアッタノデハ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、ソレカラ現ニ薩摩芋ハ安イノデアリマスカラ、之ヲ自分ノ飼育居ル家畜ノ飼料トシテ、之ヲ食ハシテ居ルト云フ事實ハ澤山アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマシテモ、價格ノ問題ハ餘程大切ニ考ヘテ、而モ其ノ御趣意ガ徹底スルヤウニ、實效ガ舉ガルコトヲ希望致シマス、私共農業者ノ立場ト致シマスベ、食糧品ノ如キハ成ルベク澤山作ツテ、サウシテ之ヲ安ク供給スルト云フコトガ原則デナケレバナラスト思フノデアリマス、併シナガラ不幸ニシテサウ云フコトハ今日ノ状態デハ實行出來マセヌ、如何ニシテモ損失ヲ免レナイト云フ場合ニハ、ソレハ出來ナイノデアリマスカラ、食糧ノ増産ノ特ニ大切ナ今日ニ於テ、是ハ十分ナ御熟考ヲ願ヒタイト思ヒマス、モウ一點申上げマス、是ハ從來篤農者トシテ本當ニ骨ヲ折

ウテ食糧ノ増産ニ努メテ居リマス者ガ、往情ヲ御覽下サッタ、其ノ時ニ局長ノ御演説ガアリマシテ、今後ハ大イニ此ノ增産ノ方法ニ力ヲ得タノデアルカラ、重キヲ置イテヤラウト云フ御演説ガアツタ、ソレカラ後私ノ所ニ手紙ヲ寄越シタ多數ノ篤農者ガ、是迄暗雲ニ鎖サレテ永イ間苦シニ居ツタノガ、初メテ輝ク所ノ日光ヲ見タト云フ心持ガスルト云フ手紙ガ來テ居ルノデアリマス、是ハ實ニ大切ナ事柄デアリマスカラ、私ハ斯ウ云フ點ニ付テ御當局ハ十分ナ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス、澤山申上ゲタイシ、又伺ヒタイトコトガアリマスガ、之ヲ以テ私ノ質疑ヲ終了致シマス、有難ウゴザイマシタ

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ之ヲ以テ質疑ヲ終リマシテ討論ニ入りマス
○宮田光雄君 私ハ別ニ討論ト云フ程ノコトハゴザイマセヌ、昭和九年法律第二十九號中改正法律案モ、臺灣米穀移出管理特別會ニ於テ我々ハ、ドウ云フ風ニ實行サレタカト云フコトヲ検討シナケレバナラナイ、其ノ注文書デアルト云フコトヲ十分ニ御承知ニナツテ、サウシテ實行ヲシテ戴クヤウニ、此ノ機會ニ於テ農林當局、大臣初メ皆様方ニ御願ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ臺灣ノ米穀問題ニ付テハ、是モ私ハ異議ハアリマセヌ、唯併シナガラ斯ウ云フ短期間ニ彼此申スコトハ出來ナイノデアリマスガ、臺灣統治ニ關スル所ノ問題ニ付テハ、私ハ相當意見ガアルノデアリマス、總督方更ル毎ニ其ノ統治ノ方針ガ一變スルト云フヤウナコトハ、是モ已ムヲ得ナイコトカモ知レマセヌ、總督其ノモノノ立場カラ言ヘバ必要チコトデアルカモ知レマセヌガ、併シナガラ又一面ニ於テハ相當ニ前統治者其ノ他ノ人ノヤッタコトモ十分ニ頭ニ入レテ、サウシテ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ私ハ希望シテ置クノデアリマスガ、此ノ昭和九年法律第二十九號中改正法律案ニ關聯シテ、食糧ノ確保、增產若クハ配給ト云フコトニ關シテ各委員ノ述ベラレタ所ノ意見ヲ希望シテ成立シテ居ルノデアリマスガ、斯ウシテ成立シテ居ルノデアリマスガ、斯ウシテ實行シテ戴キタイ、今回ノ議會ハ非常ニ意義ヲ持ツタ議會ニアリマシタガ、殊ニ兩院ヲ通ジテノ食糧ノ増産、配給ト云フ

コトニ關シテノ熾烈ナル希望ハ、全ク議員ノ考、若シクハ民意ヲ反映ニ外ナラヌト存ズルノデアリマス、我々議員トシテハ意見ヲ述べ、若シクハ民意ヲ反映セシメルニ止マルノデアリマシテ、實行ハアナタ方、大臣初メ各當局ノ努力ニ俟ツノ外ハナイノデアリマス、總テ皆サン御分リニナツテ居ルコトヲ、重ネテ此ノ議場デ我々ガ質問ノ形ニ於テ述ベタ所以ノモノハ、必ず實行シテ戴キタイト云フコトヲ非常ナ熱意ヲ以テ希望シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ希望方果シテ達成セラレルヤ否ヤト云フコトハ、或ハ來ルベキ議會、若シクハモット早ク來ル議會ニ於テ我々ハ、ドウ云フ風ニ實行サレタカト云フコトヲ検討シナケレバナラナイ、其ノ注文書デアルト云フコトヲ十分ニ御承知ニナツテ、サウシテ實行ヲシテ戴クヤウニ、此ノ機會ニ於テ農林當局、大臣初メ皆様方ニ御願ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ臺灣米穀移出管理特別會ニ於テ我々ハ、ドウ云フ風ニ實行サレタカトコトハ誠ニ御同感デアリマス、殊ニ私見デゴザイマスルガ、臺灣米穀移出管理特別會計法ノ改正ニ於テモ、是ハ行ハレルノデトノ一端グケヲ申上ゲテ、他日ノ機會ニ又デアリマスガ、併シナガラ此ノ兩法案ノ成立ヲ希望スルト同時ニ、自分ノ思ツテ居ルコトノ意味ヲ通ジテ置イテ戴キタイトノデハアリマセヌ、法制局ノ人トシテ取扱フ上ニ於テ考ヘテ貰ヒタノデアリマスカラ、ナイカト云フヤウナ考ガスルノデアリマスガ、是ハ臺灣當局ニ對シテ彼此申上ゲルノデハアリマセヌ、法制局ノ人トシテ取扱フアリマスガ、併シナガラ此ノ兩法案ノ成立ヲ希望スルト同時ニ、自分ノ思ツテ居ルコトノ意味ヲ通ジテ置イテ戴キタイトノデアリマス、私ハ甚ダ漫然タルコトヲ申上ゲタノキタイト云フコトヲ非常ナ熱意ヲ以テ希望シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ希望方果シテ達成セラレルヤ否ヤト云フコトハ、或ハ來ルベキ議會、若シクハモット早ク來ル議會ニ於テ我々ハ、ドウ云フ風ニ實行サレタカト云フコトヲ検討シナケレバナラナイ、其ノ注文書デアルト云フコトヲ十分ニ御承知ニナツテ、サウシテ實行ヲシテ戴クヤウニ、此ノ機會ニ於テ農林當局、大臣初メ皆様方ニ御願ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ臺灣ノ米穀問題ニ付テハ、是モ私ハ異議ハアリマセヌ、唯併シナガラ斯ウ云フ短期間ニ彼此申スコトハ出來ナイノデアリマスガ、臺灣統治ニ關スル所ノ問題ニ付テハ、私ハ相當意見ガアルノデアリマス、總督方更ル毎ニ其ノ統治ノ方針ガ一變スルト云フヤウナコトハ、是モ已ムヲ得ナイコトカモ知レマセヌ、總督其ノモノノ立場カラ言ヘバ必要チコトデアルカモ知レマセヌガ、併シナガラ又一面ニ於テハ相當ニ前統治者其ノ他ノ人ノヤッタコトモ十分ニ頭ニ入レテ、サウシテ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ私ハ希望シテ置クノデアリマス、サウシテ此ノ法律案ト雖モ、是ハ或ハ立法ノ技術ニ關スルコトデアリマセウガ、近來ハモウ頻々ト法律ガ澤山出テ困ル、ソレガ皆單行法トシマス

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ採決ヲ致シマス、兩案共賛成ノ方ノ舉手ヲ望ミ

〔總員舉手〕

○委員長(伯爵黒木三次君) 満場一致ト認
メマス、然ラバ是ニテ散會致シマス

午後三時三十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君
副委員長 男爵岩村 一木君
委員

公爵二條 鴉基君
侯爵中山 輔親君
子爵植村 家治君
子爵織田 信恒君
子爵土岐 章君

男爵中川 後藤 文夫君
男爵坊城 内田 重成君

宮田 有賀 光豊君
赤池 濃君

丸山 鶴吉君
松本勝太郎君
飯塚 知信君
上野喜左衛門君

國務大臣

政府委員

大藏書記官

農林大臣 井野 碩哉君
中村 建城君

農林省農政局長

拓務省殖產局長

食糧管理局長官

拓務次官

拓務省管理局長

拓務省殖產局長

臺灣總督府總務長官

臺灣總督府財務局長

北島謙次郎君

山越 道三君

岸 良一君

湯河 元威君

齋藤 樹君

昭和十六年十一月二十一日印刷

昭和十六年十一月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局